

Bulletin

組込みシステム技術協会機関誌

vol. 98

Bulletin ASA

2026

Jul.

EdgeTech+ WEST 2026

2026. 7.23 Thu. ▶ 24 Fri. 10:00~17:00

グランフロント大阪 北館 B2F
コングレコンベンションセンター

WEST2026 注目テーマ

AI駆動型開発 × フィジカルAI 最前線

各出展社の展示テーマ・内容を紹介

出展者情報掲載

会社訪問



株式会社ゼロワン

理想の会社の追求が女性エンジニアも活躍する環境に
人間力を高め徹底した技術領域で開発ニーズに対応中

活動報告



技術本部成果発表会 開催報告

【支部・委員会だより】

【中部支部】総会を実施、名大 高田広章教授の講演も 【近畿支部】AI技術セミナー、メンタルヘルス総務セミナー開催報告
【関東支部】異業種交流会 BBQ Party in 新宿 開催報告 【プラグフェスト実行委員会】第29回日本プラグフェスト開催報告
【AI研究WG】AIセミナー成果報告会 【OSS活用WG】ハンズオン成果報告会

イベント

ETロボコン2026 各地区大会情報

仮説検証ブートキャンプ AI活用×顧客起点で新規事業の「売れる仮説」を磨く3日間集中プログラム

etc.

横田英史の書籍紹介コーナー / 会員企業一覧

長期収入サポート制度のご案内(団体長期障害所得補償保険) / 新入会員企業紹介



一般社団法人

組込みシステム技術協会
Japan Embedded Systems Technology Association

開幕特集

EdgeTech+ WEST 2026 プレビュー p.1～p.6

“生成AIで進化する開発現場。ものづくりは『AIと創る』新時代へ”をテーマに、大阪・梅田のグランフロント大阪にて7月23日(木)・24日(金)の両日に開催されるEdgeTech+ West 2026。エッジのソリューションを展開するプレイヤーがイチ推しの技術を展示紹介、業界キーパーソンによる多彩な技術セミナーで最先端情報を発信します。ぜひ会場で体験してください。

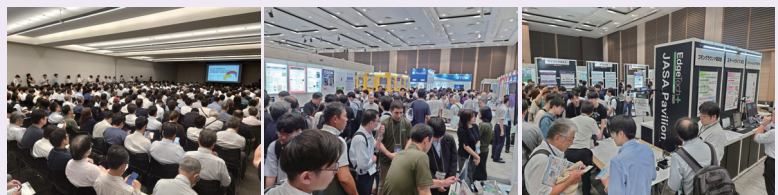
●p.1 展示会概要

●p.2～5 出展者情報

各出展者の展示内容を紹介しています。

●p.6 カンファレンス一覧

多彩なカンファレンスプログラムのタイトルを網羅しています。



- 7… ETロボコン2026 各地区大会情報
- 8… 技術本部成果発表会 開催報告
- 10… [会社訪問] 株式会社ゼロワン
理想の会社の追求が女性エンジニアも活躍する環境に
人間力を高め徹底した技術領域で開発ニーズに対応中
- 12… [支部・委員会だより]
[中部支部]総会を実施、名大 高田広章教授の講演も
[近畿支部]AI技術セミナー、メンタルヘルス総務セミナー開催報告
[関東支部]異業種交流会 BBQ Party in 新宿 開催報告
[プラグフェスト実行委員会]第29回日本プラグフェスト開催報告
[AI研究WG]AIセミナー成果報告会
[OSS活用WG]ハンズオン成果報告会

- 16… 仮説検証ブートキャンプ
AI活用×顧客起点で新規事業の「売れる仮説」を磨く3日間集中プログラム
- 17… 横田英史の書籍紹介コーナー
- 18… 会員企業一覧
- 20… 長期収入サポート制度のご案内(団体長期障害所得補償保険)
新入会員企業紹介
編集後記



お見逃しなく!!

来場・聴講登録は当日も行えます。

来場
無料

7.23 Thu. ▶ 24 Fri.

開場時間 10:00~17:00

グランフロント大阪 北館 B2F コングレコンベンションセンター

主 催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA) 事務局：株式会社JTBコミュニケーションデザイン

ご来場の際は公式サイトより来場登録をお願いいたします！
<https://www.jasa.or.jp/etwest/>

エッジテックプラス大阪



協会主催の総合技術展「EdgeTech+ West 2026」が7月23日(木)・24日(金)、大阪・梅田のグランフロント大阪で開催されます。
“生成AIで変わる開発現場「コードを書く」から「AIと創る」時代へ”をテーマに、**ホットな技術動向をキャッチアップしたセミナー&展示でエッジテクノロジーの最新動向**を発信いたします。是非リアルな場でご体験ください!

注目テーマ

AI駆動型開発 × フィジカルAI 最 前 線

西脇 資哲

日本マイクロソフト(株)
業務執行役員 エバンジェリスト



牧田 幹彦

川崎重工業(株)
ロボットディビジョン グローバル事業推進部
マーケティングコミュニケーション担当部長



小松原 つかさ

GitLab(同)
ソリューション
アーキテクト本部
シニアパートナー
ソリューションアーキテクト



坂村 健

INIAD cHUB
(東洋大学情報連携学
学術実業連携機構)
機構長



和泉 憲明

(株)AIST Solutions
(産総研グループ)
CTOオフィス Vice CTO



澤 亮太

アマゾンウェブサービスジャパン(同)
技術統括本部
ストラテジックエンタープライズ本部
自動車・製造第二ソリューション部
ソリューションアーキテクト



實田 健

Google Cloud Japan
製造・インダストリアル事業本部
カスタマーエンジニア



大平 昌幸

経済産業省
近畿経済産業局
地域経済部
次長



鳥光 厚志

バルビオン・コンサルティング(株)
ディレクター



ICOP I.T.G. B-U12 産業用PC、パネルPC、小型PC、EtherCAT mainとsubデバイス

x86互換SoC Vortex86シリーズを搭載した組み込みボード、小型PC、パネルPCを展示いたします。Vortex86シリーズはISA、PCI、IDE、パラレル、DOS、WES2009、QNX、VxWorks等のレガシーサポートが可能で、他社製品生産終了時の置き換えにぴったりです。加えて新製品のEtherCAT Mainデバイス、Subデバイス製品群QECを展示いたします。QECはArduino拡張環境でローコード開発が可能、コンフィギュレーションツール、HMI作成ツールを備え、C/C++ベースのArduino言語に加えブロック図プログラミング、ラダー図プログラミング環境を提供します。

アジャイルウェア B-D20 ウォーターフォールもアジャイルもどっちも出来る！プロジェクト管理ツール「LycheeRedmine」

本展示では、プロジェクト管理ツール LycheeRedmine を使用した、開発現場の“見える化”と“プロジェクト推進力向上”を実現する活用方法をご紹介します。ブースでは、LycheeRedmine のガントチャート・工数管理・リソース管理など、実際の画面や活用事例を交えながら、現場で“すぐに使える”プロジェクト管理の改善ポイントをご紹介します。また、アジャイル開発に対応した最新機能もご覧いただけます。「現場運用にフィットする管理ツールを探している」「Excel管理から脱却したい」「開発チームの生産性を高めたい」という方は、ぜひブースへお立ち寄りください。

アットマークテクノ C-G04 小型・省電力・高セキュリティの組み込みプラットフォーム「Armadillo」シリーズ

アットマークテクノブースでは、産業用途向けの組み込みプラットフォーム「Armadillo」シリーズを中心に、IoTゲートウェイや小型・省電力CPUボードをご紹介します。LTE Cat.1 bis対応で低消費電力を実現する「Armadillo-IoTゲートウェイ A9E」やFlutter標準対応の「Armadillo-X2」など、多様なIoT機器開発を支える最新製品を展示。JC-STARに対応する高セキュリティな設計や長期安定運用を実現するクラウド連携など、実運用を見据えたソリューションをご覧ください。

アテック A-U16 車載ソフトウェア開発の豊富な実績を活かし、SDX時代に不可欠な技術をエンジニアリングサービスにて提供

車載ソフトウェア開発で培った豊富な実績と高品質な技術力を基盤に、SDX時代に求められる先進技術をエンジニアリングサービスとして提供しています。『「車載品質×AI」をあらゆる「Edge」に』をコンセプトに、機能安全や高信頼性を担保しつつ、AI活用による高効率なソフトウェア開発を実現。組み込み領域における開発力を強みに、単なるアウトソース企業ではなく業界の未来を共に創るパートナーとして、モビリティのみならず産業機械・ロボティクス・医療機器などの分野でも価値創出を支援します。現場の課題解決につながるヒントを探しに、ぜひ当社ブースにお越しください。

アルファプロジェクト B-W12 自社設計・国内生産の高品質な組み込みボードと、ハード・ソフトのワンストップ受託開発

アルファプロジェクトは1986年に独立系システムハウスとして浜松市で誕生しました。マイクロプロセッサ応用システムや電子応用機器の設計製作、組込ソフトウェア開発、PCアプリ等の受託開発を手掛けており、お客様の課題に最適なソリューションをご提案いたします。展示会場ではルネサスエレクトロニクス社製マイコンを搭載したボードコンピュータなどを展示いたします。産業用IoTやAIエッジコンピューティングに最適な製品のご紹介に加え、お客様の課題に合わせた受託開発のご相談も承ります。

アレックス B-D08 音声ガイダンスと言えばアレックス！

アレックスは長年音声ガイダンス・音声アナウンス・警報音などの音声製作から音声再生エンジンまで音声に関するソリューションを提供してきた会社です。アレックスの音声ソリューションは、音声LSIなしで音声ガイダンスの再生を行う事ができます。各種デモンストレーションを行っておりますので、ぜひお立ちより下さい。

イー・フォース A-D24 RTOS・通信・機能安全で組み込み開発の課題解決を支援

イー・フォースは、1,000製品以上の導入実績がある国産RTOS「μC3」を中心に、TCP/IPプロトコルスタック「μNet3」、機能安全対応RTOS「μC3/Standard-Safety」などを提供する国内OSベンダです。EdgeTech+ West 2026では、「リアルタイムOS、ネットワーク通信、機能安全に関するソリューションをご紹介します。

EMS-JP B-F29 EMS-JP パビリオン 日本一のモノづくり最強チームを目指します！

1社では受注が難しい案件でも会員間の企業連携で対応することにより、特定の工程は基より、ソリューションとして一括受注も可能になり、ビジネスチャンスの拡大を図ることができます。会場では、各社の専門技術やサービスを結集し、(エヌ・アンド・アイ・システムズ、岡本無線電機、共立電子産業、瀬戸電子、ニソール、PI (北海道電子機器)、フォー・クオリア) ご紹介いたします。

ウィンボンド・エレクトロニクス C-D24 自社ファブ保有で長期安定供給を実現！トータルメモリソリューションプロバイダのウィンボンド

ウィンボンド・エレクトロニクスはメモリおよびロジックICの自社製品と技術を有する、世界でも数少ない企業の一つです。製品設計、研究開発、ウエハ製造から自社ブランドのグローバルマーケティングまでを行い、グローバルなお客様にトータルメモリソリューションを提供するよう努めています。主な製品は、コードストレージ用フラッシュメモリ、TrustME®セキュアフラッシュメモリおよびカスタム・メモリ・ソリューション (CMS) です。EdgeTech+ WESTでは各製品のデモを展示し、弊社FAEより製品特長など詳細を説明させていただきます。

エヌ・アンド・アイ・システムズ B-F29 EMS-JP パビリオン AI活用の定着から知識活用までをワンストップで支援

N&IとNTIは、企業のAI活用・DX推進を支援するソリューションを共同展示します。N&Iの「educAlter」は、現場に寄り添う伴走型支援によりAI活用の定着を支援。NTIの「KITE」は、社内外に蓄積された知識をAIで統合・活用し、業務改善や経営戦略立案を支援します。人材育成とAI基盤を組み合わせ、企業のAI活用を成果へつなげる新しいアプローチをご紹介します。

NXTech A-U20 デジタル社会とイノベーション創出の実現に向けて様々な製品とサービスを提供します

NXTech株式会社は、SAAFホールディングスグループの「エンジニアリングサービス・システム開発・デジタルサービス」の中核会社として、システム開発・ITサービスの「システムソリューション」、センサからクラウドまで統合した「IoTソリューション」、組み込みソフトウェアなどの「組み込みソリューション」の3つに集中し、様々な製品とサービスを提供します。

NTTデータ先端技術 C-D06 仮想化基盤ソリューション×AIOpsで実現する運用効率化 ～Prossione Virtualization～

2025年7月より提供を開始したOSSであるKVMを活用した仮想化基盤ソリューション「Prossione Virtualization」の展示に加え、仮想化基盤の構築・運用を生成AIで効率化するデモンストレーションを実施します。チャット形式での仮想マシン作成により導入工数を削減、また、監査や運用手順の自動化により管理者の負担を軽減します。さらに大規模言語モデル (LLM) を活用したログ解析支援により、障害原因の特定や運用知見の早期獲得を支援します。仮想化基盤の導入を検討しているお客様が実運用ノウハウを短期間で得られることを目的としています。

出展セミナー E72-03 『次世代仮想化基盤の現状と選び方～Prossione Virtualizationで考える仮想化コスト最適化と運用課題の解決』**エフィニックス A-G29 革新的で柔軟性のあるQuantumアーキテクチャを持つFPGAで高性能かつ低電力を実現**

Efinixは、Titanium、Topaz、Trionの各FPGAファミリーを提供しており、これらは従来のFPGA技術に比べて、消費電力、性能、面積の面で優位性を発揮します。また100%標準CMOSプロセスでの構築により安定した供給性でお客様から評価頂いております。今回のEdgeTech+ WESTでは、「実際に動作しているFPGAに触れていただく」ということで低消費電力を実感頂けるデモを各種ご紹介させて頂いておりますので、ぜひブースにご来場ください。

エブレン C-G06 詳細は公式サイトでご確認ください。**大阪エヌデーエス C-D04 課題解決を加速する、製品×サービスの力**

大阪エヌデーエスは社会に必要な不可欠なあらゆる「しくみ」を、ITを使って構築する情報サービス企業として、課題解決のためのコンサルティングから設計・開発・運用・保守までを提供します。今回の展示では、お客様視点による価値創出を通じて社会課題の解決やインフラを支える「BRICK eloT」& 「BRICK eConnect」を展示します。企業ごとのニーズに合わせてカスタマイズし、効率のかつ効果的な運用を実現するためのシステム構築、コンサルティング、教育支援、サポートなど、お客様の期待に応える関連サービスを紹介します。

岡本無線電機 B-F29 EMS-JP パビリオン エレクトロニクスで未来を拓く企画・開発パートナーへ

確かな品質と技術力を強みに、お客様の企画・開発段階から製品化までをトータルでサポート。お客様の「実現したいこと」に寄り添い、新たな価値創造に貢献します。当社ブースでは、オンデバイス学習が可能なエッジAIマイコンを展示。エッジ環境で進化するAIの可能性を、ぜひ会場でご体感ください。

キーエンス B-M20 組み込みエンジニアのためのテスト支援システム

7月リリースの新品、TC-3000シリーズを展示します。人手不足で一人ひとりの負担が大きい組み込み開発者と組み込み機器の品質向上を、すべての開発現場に。

技術評論社 C-D22 IT人材採用でお困りの企業様。Software Designへの広告出稿をご活用ください！

どの分野でもITエンジニアの人材採用が難しくなってきた昨今ですがお困りの企業様にお知らせです。創刊37年になるITエンジニアのための技術情報誌月刊Software Designへの広告出稿を人材採用に活用してみませんか。事例紹介等詳細をご説明いたします！

GitLab 基調講演 K2-02 AIエージェントをセキュアに統括するGitLabの開発プラットフォーム

基調講演「AIは、脅威か。武器か。——組み込み業界が今すぐ動くべき理由」にぜひご参加ください。GitLabにより、人間のチームとAIエージェントを効率的に連携し、開発、テスト、セキュリティ、デプロイメント向けのワークフローなど、ソフトウェアライフサイクル全体を安全かつ効率的にオーケストレーション可能となります。

Qt Group **A-B03** **組込み・エッジ開発の最前線——UIからQA・機能安全まで、Qt Groupのソリューションを一挙展示**

組込み・エッジ開発をエンド・トゥ・エンドで支えるQt Groupの最新ソリューションを展示します。Figma連携にも対応した「Qt Design Studio」や「Qt for MCUs」でリッチなUI開発を実現。AIエージェントによるデザイン作成・コード生成など次世代のエンジニアリング開発もご紹介。QA領域では「Squish」のMCP連携テスト生成・実行、「Coco」のコードカバレッジ分析、「Axivion」のアーキテクチャ検証を展示。さらに昨年からQt Groupの一員となったIARの「IAR開発プラットフォーム」も。自動車・産業機器・医療など幅広い採用事例もご紹介します。

共立電子産業 **B-F29 | EMS-JP |バリエオン** **M5Stackで加速するエッジ&IoT開発！M5Stackのデモを展示！部品調達から製造までお任せください。**

長年にわたり組込みソフトウェア開発およびIoTセキュリティ分野で培ってきた当グループの技術力を活かしたセキュリティソリューション中でも、2026年9月に部分適用が開始するCRAを始め、セキュリティ規制・規格への対応に有用な製品・サービスをメインにご紹介します。また、組込み向け製品を、リアルタイムOS、組込みミドルウェア、セキュリティなど、それぞれコーナーを設けてソリューション展示を行います。また、2026年 7月23日 (木) 13:00 - 13:45 に「セキュリティ対応、コストをかけ続けるだけで終わっていませんか？」と題した講演をいたします。是非ご参加ください。

近畿大学 ハザード認知情報システム研究室 **C-B29 | コロシティ|バリエオン** **日常生活で役立つ技術の社会実装を目指した研究**

日常生活で役立つ単純な技術の社会実装を目指し研究しています！モバイルデバイスを中心とし、モバイルプロセッサの開発からアプリケーション応用まで幅広く研究しています。学生から研究内容の説明をさせていただきますので是非お気軽にお立ち寄りください。共同研究等も検討しておりますので是非よろしくお願いたします。＜展示予定技術＞音を利用した周辺の危険状況検知技術、カメラを利用した感情検知技術、LEDとカメラによる魚の体調管理技術、画像処理によるAI生成画像の判別技術、センシング技術による災害救助隊員の危険モニタリング技術、その他、幅広い技術を展示予定です。

グレースシステム / ユビキタスAI **A-D10** **組込みソフトウェア開発およびIoTセキュリティ分野で有用な製品・サービスを紹介**

長年にわたり組込みソフトウェア開発およびIoTセキュリティ分野で培ってきた当グループの技術力を活かしたセキュリティソリューション中でも、2026年9月に部分適用が開始するCRAを始め、セキュリティ規制・規格への対応に有用な製品・サービスをメインにご紹介します。また、組込み向け製品を、リアルタイムOS、組込みミドルウェア、セキュリティなど、それぞれコーナーを設けてソリューション展示を行います。また、2026年 7月23日 (木) 13:00 - 13:45 に「セキュリティ対応、コストをかけ続けるだけで終わっていませんか？」と題した講演をいたします。是非ご参加ください。

出展社セミナー | E71-02 **『エッジデバイスにおける新世代セキュリティ戦略：義務から保護へ、そして保護から攻めのセキュリティへ。製品価値を進化させ、新たなビジネスチャンスを生む新発想と、それを支える組込みセキュリティ中核技術を紹介』**

コア **A-M08** **詳細は公式サイトでご確認ください。**

サイエンスパーク **A-M12** **現場で使えるエッジAIとDXで、検査・制御・インフラ保全の課題解決を伴走支援**

サイエンスパークは、エッジ環境で活用できるAI/DXソリューションをご紹介します。コンクリート劣化検出画像処理技術「SciCS」、ノーコードでAIモデルを作成できる「AIボッチと検査」、機械の自動制御や不良品検出を支援する「AIDX伴走支援サービス」を展示。現場課題の整理からPoC、開発・運用まで伴走します。ぜひブースでご相談ください。

サイバートラスト / リネオソリューションズ **B-G06** **セキュリティ対応を差別化ポイントに。一歩先のLinux機器開発**

サイバートラスト・リネオソリューションズでは、25年以上の国内Linux開発支援実績を基に、お客様のIoT・組込み機器のセキュアな開発・運用をご支援します。JC-STARやCRAをはじめとする様々な法規制、ガイドラインが整備されていく中、組込みLinuxのセキュリティを考える上では、以下が重要なポイントとなります。出荷時に悪用可能な脆弱性が含まれていないこと、定期的な脆弱性の管理と対応、悪用された脆弱性が発見された場合の現地当局への報告義務と迅速な対応。本ブースでは法規制対応にも有効な、組込みLinuxの脆弱性対策や長期メンテナンスを中心としたセキュリティソリューションをご紹介します。

出展社セミナー | E11-03 **『JC-STAR★1・★3取得への道』**

出展社セミナー | E71-04 **『9月からCRA適用開始！組込みOSの脆弱性メンテナンスを解説』**

出展社セミナー | E11-01 **詳細は公式サイトでご確認ください。**

サイバートラスト **B-M12 | JASA |バリエオン** **詳細は公式サイトでご確認ください。**

CRI・ミドルウェア **B-M12 | JASA |バリエオン** **音と映像のソフトウェアでエッジ機器の価値創出を支援**

音声・映像処理をソフトウェアで実現し、機器の付加価値向上や課題解決に貢献します。マイコンでの高音質・省電力な音声出力や、高画質を維持したままの映像圧縮・低遅延伝送など、ハード構成に依存しないソリューションを提供しています。既存機器への応用や新たなシステム化にも幅広く対応できます。

Seed Studio **B-S29** **産業利用が可能なIoT・エッジAI向けハードウェアソリューションをご紹介します**

センサーからエッジAIコンピュータ、ロボットアームまでをワンストップで提供可能なSeedの最新ハードウェアソリューションをご紹介します。NVIDIA Jetson AGX Orin搭載の「reComputer Robotics J5012」をはじめ、コンパクト気象ステーション「SenseCAP S700」、産業用途向けHMIデバイス「reTerminal DM」などを実機展示。これらのソリューションを通じて、製造業や社会インフラ分野におけるDX・AI活用をサポートいたします。

セキュアインベーション **C-G12** **CRA・JC-STAR・SBOM対応を見据えた製品セキュリティ対策をご支援いたします**

セキュアインベーションは、脆弱性診断やSOC運用で培った知見を活かし、IoT機器等のセキュリティ対策を支援しています。今回、CRA（サイバーレジリエンス法）、JC-STAR等を中心に、要求事項の整理、製品・開発プロセスのセキュリティ確認、脆弱性管理、SBOMに関するご相談を承ります。規制対応やサプライチェーンリスク対策をきっかけに、継続的に安全な製品づくりを進めたい企業様のセキュリティ対策をご支援いたします。

瀬戸電子 **B-F29 | EMS-JP |バリエオン** **EMS企業として、もの作りのサポートを致します。基板、ハーネス、電子部品調達、光通信、おまかせください。**

中国で3拠点工場があります。深圳/襄陽にてハーネス工場、武漢にて配電盤組立工場、細物、太物、長物、カスタムハーネス対応可能でございます。また国内では光通信部品MTフェルル製造しております。現状AI関連のデータセンター向けに需要が高まっております。ディップ品の実装も可能でございます。その他、部品調達含め、SMT実装、他EMSサービス及び商事案件を手掛けておりますので、お気軽にお問い合わせくださいませ。

センセサリー・システムズ **B-U24** **産業用途に求められる高い信頼性と豊富なインタフェースを備えたIoTゲートウェイを提供**

高機能IoTゲートウェイとして、64bitアーキテクチャーである「FutureNet MA-X300/X200シリーズ」と省電力で動作する「FutureNet MA-S120/P160シリーズ」を中心に、死活監視機能や端末へのセキュアなアクセスが可能なWarpLink ISC-Nextなど、運用基盤として利用可能なサービスなどをご紹介します。また、LXC技術を活用した仮想インスタンス機能を搭載し、柔軟なアプリケーション提供とストレージの長寿命化を実現します。

ソフトウェアコントロール **B-P29** **IoTによる状態監視ソリューションのご紹介**

本展示会では、実機デモで「かんしすてむ」の機能を実際に見ることが出来ます。温度センサーで居室の温度をリアルタイムに監視し、働く皆様の健康を管理。暑すぎや寒すぎを防ぎ、快適な作業環境を確保します。開閉センサーで扉や蓋の開閉状態を検知し、設備の安全性を一段と強化。想定外の開閉によって生じるリスクを防止します。人感センサーでブースの利用状況を遠隔から監視。在席状況を外からチェックし、セキュリティと効率性を両立させます。AWSを活用したクラウド分析で、収集されたデータはリアルタイムに集約され、視覚的に表示。居室の温度、扉の開閉状態、ブースの利用状況などを一目で確認でき、迅速な対応を支援します。

ソルビファイ **A-M16** **製品開発の上流に潜む「考慮漏れ」と「属人化」をAIで解消**

要求仕様書・テストケース・レビューを、企業固有フォーマットに沿ってAIが自動生成・標準化します。

ダイナコムウェア **B-D16** **豊富な採用実績を持つフォント・書体シリーズ「DynaFont（ダイナフォント）」の開発/販売**

DynaFontは30年以上にわたり、高品位なフォントと多様なソリューションで世界中の信頼を得てきました。近年UIの視認性向上が求められる中、同社の組込み用フォントはハイビジョン対応の品質と、100ヶ国以上の言語を網羅した豊富なライナップが特徴です。デザインの統一性を持たせた多言語フォントで、お客様の海外進出を強力にサポートします。さらに、デバイスに最適なフォントの提案にとどまらず、開発からテクニカルサポートまで一貫して対応。これからも高品質なデザインと革新的な技術で、グローバル市場への展開を幅広く支援していきます。

太陽誘電 **A-K12** **広いネットワークエリアと低消費電力 セルラーLPWA Cat-M1**

3GPP標準化規格に準拠した超低消費電力のセルラーLPWA Cat-M1です。キャリア認証・技適対応した最適モジュール設計実現。強みと特徴：日本設計&生産＋技術・品質サポート、回路商品（特に無線Module）の豊富な開発/製造/販売実績、小型高密度設計技術で高品質、ユーザーに寄り添った丁寧で充実した技術サポート対応。

立花エレテック **B-D24** **技術商社の立花エレテックが、お客様にいち早く最新情報をお届けしてまいります！**

今年も実際に体験して頂けるソリューションデモを準備してお待ちしております。

- 1) 画像認識AI&クラウド監視「EGNA-DX」
- 2) 電波をLoRaで遠隔監視「EGNA-BLTmini」
- 3) All in One モーターソリューション「TIMDA」
- 4) 磁気センサによる位置検出ソリューション
- 5) シングルペアEthernetで配線の省スペース化！

DTSインサイト B-W20 見えないものを“可視化”する お客さまのニーズを“かたち”にする

私たちDTSインサイトは、車載分野・組込み分野を中心としたお客様の開発を支援するプロダクトや、ハードウェア・ファームウェア・ソフトウェアのエンジニアリングサービスを提供しています。本展では、Arm純正開発環境とRAMモジュール「EVRICA」による最新デバッグ手法、AI生成コードのリスクを可視化する静的解析ツール『CodeRelief』、車載分野で培った知見を農機・建機・航空宇宙に活かすOHV向けソリューション、光学設計の試行錯誤を解消する外観検査シミュレータの4点を展示します。次世代のモノづくりを支える具体的なソリューションをご体感ください。

ディジタイナショナル B-G04 エッジAIモジュール、LTE、サブギガ、Wi-Fi、Wi-SUNモジュール、クラウドを紹介

エッジコンピューティングデバイス「ConnectCore」、LTE、サブギガ、Wi-Fi、Wi-SUNなどの通信モジュール「XBee」、インダストリアル・エンタープライズ向け5G/4Gゲートウェイ/ルータ「IX/EX/TX」、Wi-SUNボーダールータを展示。エナジーマネジメント、公共インフラ/スマートシティ、医療/ヘルスケア、インダストリアル、小売/リテール、輸送/運輸分野でのIoTを実現します。

出展社セミナー E11-02 『グローバル展開を加速させる開発不要の通信モジュールとゲートウェイ』**出展社セミナー E72-04** 詳細は公式サイトでご確認ください。**divx C-L11 生成 AI ゾーン** 教育と開発で現場のAIシフトを実行支援！実績あるソリューションを展示

AI導入の壁「何から始めるべきか」「現場に定着しない」を、課題整理から定着まで人が伴走する当社のFDEが解決します！業務改善・セキュリティ対応・人材育成など複数領域の実績あるAIソリューションをご紹介しますとともに、FDEによる現場伴走の支援スタイルをご提案します。

データ・テクノ B-M12 JASA Jパビリオン AIを手のひらサイズへ。現場で学習・判断する次世代マイコンボード

株式会社データ・テクノの「DT-EBML63Q2557」は、ローム株式会社製Solist-A1™対応マイコン（ML63Q2557）を搭載したAI組込み開発向けボードです。マイコン上で機械学習・推論処理が可能のため、クラウドや外部サーバに依存せず、現場でセンサデータの異常検知や状態監視を実現できます。ADC・FFT機能を活用した振動監視などにも適しており、I²C・SPI・USBなど多彩なインターフェースを搭載。評価開発から製品組込みまで幅広く対応し、エッジAIによるスマート化を支援します。

テクマトリックス B-G20 ソフトウェア開発の安全性とセキュリティを担保する「ソフトウェア品質ソリューション」

テクマトリックスは、最新のテクノロジーと豊富なサポート経験を活かして、ソフトウェア開発の現場に安全とスピードをお届けします。ソフトウェア開発における生産性と品質向上を可能にする開発支援ツール、セキュリティ脆弱性の検出、クラウド基盤でのCI/CDやDevOps環境整備など各種ソリューションをご提供します。

デンソークリエイティブ B-U29 デジタル化×AI で組込み開発を革新する

ソフトウェア開発現場のAI活用を支援する「自律型AIエージェントプラットフォームDC Agentiqs」の販売を開始しました。開発においてAI活用は不可欠になっていますが、汎用AIとの壁打ちなどに留まり、工程を横断したAI活用が十分に進まないケースが多いのではないのでしょうか。「開発現場で本格的にAIを活用できる」を実現するために生まれたDC Agentiqsで皆様の課題を解消します。さらに、従来の弊社製品で支援してきた「設計データのデジタル化」「レビュー指摘の蓄積・可視化」「実績工数データによる改善」をDC Agentiqsが理解し、設計、レビュー、プロジェクト管理をさらに高度化します。

東光高岳 B-D12 お客様に最適なソフトウェアソリューションを提供することにより、社会の発展に貢献します

東光高岳は、組込みソフトウェアを開発受託・ライセンスにて提供しています。開発受託に関しては要求仕様に合わせて、ドライバ層からアプリケーション層まで対応致します。ワイヤレスソフトウェアについては、Wi-Fi、Bluetoothを中心にThread、UWB、NFC、ZigBeeなどの規格対応はもちろん、各種チップベンダーに対応可能で、多様なニーズにお応えします。近年はCSAへ加盟し、MatterやAliro対応のソフトウェア・各種認証サポートにも取り組んでおります。JC-STARやCRAといったサイバーセキュリティ対応にも、ソフトウェアの面から支援させていただけますのでお気軽にお問い合わせください。

東芝情報システム A-S24 ～お客様と共に新たな価値を創造し続ける～

東芝情報システムは、ICTで人々の暮らしや心を豊かにする社会を目指し、組込みソフトにおける、アプリケーションからプラットフォーム領域まで幅広い開発と、多彩なIP商品やサービスを提供いたします。当社プースでは4つの製品・サービスをご紹介します。【1】電池駆動×無線メッシュで設備監視を手軽に実現する施設監視ソリューション 【2】量子コンピューター時代に備える組込み向け統合セキュリティソリューション 【3】最新技術であるAuracastをはじめ、Bluetooth搭載製品の企画から出荷までトータルソリューション 【4】AI活用・画像認識技術と応用（参考出展）。ぜひお立ち寄りください。

TOPPERSプロジェクト B-D04 高品質なRTOSをはじめとしたオープンソースソフトウェアと教育コンテンツを提供します

NPO法人TOPPERSプロジェクトは、ITRONを出発点として、組込みシステム開発に有用な各種の高品質なオープンソースソフトウェアと、技術者育成のための教育コンテンツを開発し、組込みシステム開発に新しいスタンダードを提案します。

とめ研究所 C-L13 画像認識 AI Expo 知能情報処理技術をコアコンピタンスとしたソフトウェア研究開発受託会社

とめ研究所は、お客様の研究開発へ貢献する“ソフトウェア研究開発受託会社”です。知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・公的研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき人と機械の共生社会の構築に貢献します。博士・博士相当のエンジニアが共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します。エンジニアの5割が博士号取得者、8割が博士課程出身です。研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください。展示では人工知能、機械学習・ディープラーニング、データサイエンスなど得意分野のソフトウェア研究開発実績をはじめ、当社をご紹介します。

Toradex A-S14 詳細は公式サイトでご確認ください。**トランセンドジャパン A-S12** 安定供給と高信頼性で支える産業用メモリ・ストレージメーカー

トランセンドはグローバルで38年の実績を持つ台湾メモリ専門メーカーです。産業用SSD、メモリモジュール、メモ리카ードを中心に、エッジAI機器、組込みシステム、産業用PC、画像処理装置向けの高信頼なストレージ・メモリソリューションを提供しています。安定供給、広温度対応、電源断対策強化品、耐久SLCモード対応など、産業用途ならではの要求に応える製品ラインアップをご紹介します。ぜひブースへお立ち寄りください。

ニソール B-F29 EMS-JP Jパビリオン 組込機器の開発を支援します！

AW設計とCAD開発事業で培ったノウハウ、通信機器の豊富な開発経験、EMS-JPのネットワークを活用により組込機器のスピーディな開発を支援します。お困り事がございましたらなんでも相談してください。

日新システムズ A-K24 IoT・組込み開発の課題を、設計から運用までワンストップで解決

設備監視、データ活用を実現する「SQU-Air」、設計から運用までを支援するエンジニアリングサービス、JC-STAR・CRA対応を見据えた「IoTセキュリティ機器支援サービス」をご紹介します。さらに、RTI Connex DDSとQNXによる高信頼システム開発や、生成AI「Connex Bot」のデモを通じて、次世代の組込み・IoTシステム開発を支えるソリューションをご提案します。

日本システム開発 C-G14 開発工程におけるローカルLLM活用と生成AIソリューション

当社の組込みソフトウェア開発としての強みは、車載、組込Linux、ROS、エッジAI、ソフトウェア品質支援、エンジニア教育がありますが、本展示会では弊社のローカルLLMでの取り組みを紹介します。ローカルLLMはオープンソースのもの、当社が資本業務提携しているクエーグル社のkrugleがあります。プロダクト：設計書とソースコードのトレーサビリティツール（生成AI活用）、静的解析ツール指摘部分を自動で修正するツール（生成AI活用）。実施事例：生成AIを使用したレガシーマイグレーション、製造業向けローカルLLM構築支援。

ネクスコム・ジャパン A-S20 高性能でお求めやすいVALUE MODELシリーズに加え、車載用AI PCも各種ラインナップ

VALUE MODELシリーズでは、低価格で汎用性の高いスマートシティーセントローラ、インドア&セミアウトドア向けデジタルサイネージプレイヤーから、インダストリアル用途向けの小型PCなど、各業界でお使いいただけるIoT対応、ファンレス産業用PC製品をラインナップ、用途や予算に応じた最適な選定をご提案します。Ubuntuをプリインストールした小型産業用PCも追加し、導入のしやすさをご提案するとともに、ライセンスに関するお問い合わせもブースにて承ります。また、車載AI PCも各種ラインナップ、多様なインターフェースに対応した構成をご紹介します。

ネクスティエレクトロニクス B-W14 Qualcomm社の産業向けSoCブランド「Dragonwing」をご紹介します。

Qualcomm社の産業向けSoCブランド「Dragonwing」を活用したエッジAIソリューションをご紹介します。低消費電力かつ高性能なAI処理、豊富な開発環境とAIモデルにより、PoCから量産までスムーズな導入を実現。長期供給と産業グレード対応により、FA・ロボティクス・監視・リテールなど幅広い用途に適用可能です。ブースでは評価キットを用いたデモなどを通じて、エッジAIの活用イメージをご体感いただけます。

伯東 A-K04 テクノロジーと自然環境が共存する豊かな未来を目指して

伯東は1953年の創業以来、最新の情報や最先端の技術をいち早くお客様へお届けする技術商社として、生産の効率化を図る工業製品を生み出すメーカーとして、皆様のご愛顧とご支援により順調な発展を遂げてまいりました。伯東は、「人と技術で広く世界を結ぶ」をモットーとし、先進のテクノロジーで産業社会の未来を切り拓くため、最適なソリューションを提供してまいります。また、エレクトロニクス×ケミカル領域、商社×メーカーのハイブリッド企業としてのシナジーを発揮し、独自の価値を創出してまいります。

Bee B-M12 JASA Jパビリオン エッジAI×読唇術

「音」が聞こえない環境で、言葉を伝えるには？ その答えの一つが「読唇術」です。当社では、口の動きだけで発話内容を読み取る「読唇術」をAIによって実現しました。obanz-A1™テクノロジーにより、Transformerを日本語の読唇タスク用に拡張・最適化したモデルを構築。加えて、動画生成AIを使用して作成したデータセットを用い、転移学習を行いました。今回は、このモデルをエッジデバイスに組込み、アプリケーションとして展示いたします。ブースでは、展示物による「エッジAI×読唇術」をご体験いただけますので、ぜひお越し下さい。

PI **B-F29 | EMS-JP |バリエーション** **エッジAI・センサIoTの可能性を、試作と実証と一緒に探ります**

エッジAI・センサIoT・ロボティクス領域で、技術の使いどころを探索しています。社内文書や現場データなど、クラウドに出しにくい情報をローカル環境でどう活用できるか。実際のアイデアや困りごとを起点に、小さな試作と実証を重ねながら、現場で使える可能性を形にします。

PTC**ジャパン** **出展社セミナー |E72-01** **『AI駆動のデジタルエンジニアリングによる製造業の革新～PTCの最新ソリューションと展望～』**

デジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中、AI技術は製造業において革新的な変化をもたらしています。ただし、やみくもにAIを適用することについての懸念等が挙げられることも、また事実です。PTCの講演ではAIを活用した製品開発プロセスの効率化や部品検査の自動化やサービスへの適用など、具体的な事例を交えながら、PTCが提供する最新のAI駆動のソリューションや開発中の機能などの他、PTCのAIに対する取り組み、考え方を紹介いたします。

ピッツ **A-U12** **校正情報管理システム「CIMS（シムズ）」のご紹介**

当社は創立55年の独立系ソフトウェアベンダーとして、受託開発および自社製品の開発・販売を行っております。ソフトウェア受託開発では、要件定義から構築、保守まで一貫して対応できる点を強みとしています。本展示会では、自社製品である計測器の校正業務を効率的に管理できるWebアプリケーション「CIMS（シムズ）」をご紹介します。校正履歴の一元管理と柔軟なワークフローにより業務の進捗を見える化し、導入によりペーパーレス化や成績書作成の効率化、校正漏れ防止に貢献します。また、業務のシステム化や既存システムのリプレイス、組込みソフトウェア開発などでお悩みの方はぜひご相談ください。

フォー・クオリア **B-F29 | EMS-JP |バリエーション** **オフィスや工場・店舗向けに電力見える化とセキュリティ対策のソリューションをご紹介します。**

当社はシステム・アプリ受託開発やWeb制作の事業をおこなっておりますが、今回は当社で取り扱っているオフィスや工場・店舗向けの2つのソリューションをご紹介します。1つ目は、大規模工事不要で後付設置可能な簡易電力メーターで電力見える化を行えるソリューションです。2つ目はサイバーセキュリティ保険付きでWの安心をご提供するセキュリティシステム構築サービスのご紹介となります。

bubo **B-M12 | JASA |バリエーション** **「新しい」モノを、「良い」モノに。**

私たちは、ソフトウェア開発の現場において品質が育ち続ける状態をつくることを目的として活動しています。テストを増やすことや、ツールを導入すること自体を目的とした、テストを請け負う会社ではありません。品質の構造を「文化・チーム・データ・プロセス」という領域で捉え、いま何が歪んでいるのかを対話を通じて明らかにするアジャイルQAコンサルです。

ブライムゲート **C-D12** **プログラミングによるLSI設計開発の最先端を進む“匠のエンジニア集団”、ブライムゲート**

限界を超え続け発展するエレクトロニクスの世界。ブライムゲートは、LSIの更なる需要を見据え、1995年に設立されました。徹底的な設計管理体制が実現する「高品質」「短納期」にこだわったLSI開発は、クライアントから高い評価を受けています。

ブラックス **C-D20** **電子機器の試作開発から量産まで一貫体制でサポートします**

受託開発事業・・・東京都府中市にて電子機器の開発～量産まで自社内完結の工程でサービスを提案。
カメラ開発事業・・・これまで培った画像処理技術より産業用カメラのカスタム開発を得意としています。
カメラ販売事業・・・自社開発カメラの開発、製造、販売

ブラック・ダック・ソフトウェア **C-D16** **AI生成コードのセキュリティ、ソフトウェア・サプライチェーン・リスク管理はおまかせください**

ブラック・ダックは、AI時代のソフトウェア開発に求められる「スピード」と「セキュリティ」を両立する、AI活用型アプリケーション・セキュリティ・ソリューション Black Duck Signalや、SBOM作成やOSS管理をするBlack Duckソフトウェア・コンポジション解析をご紹介します。EU CRAを始めとした規制に対応するため、海外での製品販売やサービス提供をする企業にとっては、SBOMの管理は必須で求められるようになっていきます。自社のソフトウェア資産の中身を確実に把握し、セキュアなアプリケーションを開発・運用するために必要なテスト・ソリューションを提供しています。

- 出展社セミナー |E71-01** **『EU CRA技術対応の要点：ライフサイクル全体で継続的に行う構成管理・脆弱性追跡― SBOM・VEXを活用した継続管理と迅速報告の実践』**
出展社セミナー |E72-02 **『AIコーディングに求められる透明性と管理対応の迅速化 ― AIを活用したアプリケーション・セキュリティの最前線』**

ベクター・ジャパン **A-B20** **ミッションクリティカル分野のソフトウェア開発者に、先進的な開発環境を提供していく。**

自動車開発分野におけるデファクトスタンダードとなっているベクターのソリューションは、商用車、建機、農機、航空宇宙(アビオニクスネットワーク、ハイブリッド電動航空機)、鉄道、輸送、医療機器、産業機器（インダストリー4.0、IIoT）など、他のミッションクリティカル分野の多様なニーズにも対応しています。お客様の期待に応え、共に課題を解決していくことが、我々のモチベーションであり、原動力です。

出展社セミナー |E12-03 **『なぜ、テストはいつも最後に地獄をみるのか ― 自動車業界の事例から考える評価手法』**

マクニカ/アナログ・デバイスズ **C-G20** **アナログとデジタルをつなぐ、Analog Devicesのマイコン**

当ブースでは、「アナログとデジタルをつなぐ」をキーワードに、Analog Devicesのマイコンを活用した最新ソリューションをご紹介します。IoT、ヘルスケア、産業機器など多様な分野で求められる“つながる技術”を、高精度・低消費電力・高セキュリティの視点からご提案します。

丸文 **A-K20** **AI・IoT・産業用コンピュータの導入・活用を徹底支援いたします。**

AI・IoT・産業用コンピュータの導入・活用でお困りではありませんか？当社ブースでは、最新の産業用エッジAIコンピュータ、組込ボード、AIアクセラレーター、産業用カメラなどを展示しています。豊富な経験と幅広いライナップを活かし、標準品のご提案からセミカスタム、フルカスタムまで対応可能。設計・量産・保守まで、営業と技術が一体となって徹底サポートいたします。

ミラクシア エッジテクノロジー **B-U16** **突然のマイコンEOLも、迫り来るCRAも。支えるのはミラクシア。**

ミラクシアでは昨年「EdgeTech+ AWARD AI設計支援 優秀賞」を受賞したマイコンEOL対応『要件定義』サービスをご紹介します。高品質な要件定義書、最短2週間納品、低価格を強みに、多くのお客様のEOL対応を支援してきました。ブースでは導入事例もご紹介します。さらに、新たにEULIシリエンス法（CRA）対応に代表される脆弱性対応についても、ミラクシアの知見を活かし、製品を今すぐ守ること、そしてこの先も安心して提供し続けることを支える取り組みをご紹介します。

出展社セミナー |E12-01 **『開発マネージャーが取り組むべき下回りソフト開発の大改革 ～マイコンEOL対応で見える、生成AIの実践活用と開発高速化～』**

Moxa Japan **B-U20** **セキュアな産業DXを支えるエッジコンピューティングとネットワークソリューション**

セキュアな産業DXを実現するエッジコンピューティングとネットワークソリューションをご紹介します。特に、JC-STARなど高まるセキュリティ要件への対応を見据えた産業用Armコンピュータ「UCシリーズ」をはじめ、産業用イーサネットスイッチ、無線LAN製品、シリアル通信機器など、現場のデータ収集からネットワーク接続、エッジ処理までを支える幅広い製品ラインアップを展示します。また、ネットワークの可視化や運用効率化を実現するデモもご覧いただけます。長期供給・高信頼性・産業用途向け設計を強みとするMoxaのソリューションを、ぜひ会場でご体感ください。

ユーバー **C-D08** **最適な小型エンクロージャー(筐体)設計と生産対応**

当社は1977年創業以来、産業用組込みコンピュータに関連する筐体(シャーシ)、フロントパネル等をカスタム対応して参りました。昨今、多角化するコンピュータ用カスタム筐体検討にあたり、お客様のご要望に応じて簡易熱性能シミュレーションソフトウェア(Ansys Discovery)を活用し、冷却構造のカスタムケースの設計、製造も可能です。当社展示ブースでは、IT技術に関連する電子機器用筐体のカスタム品サンプル事例(熱対策、密閉構造、組込み、軽量化など)を多数展示致します。

立命館大学 マルチメディア集積回路システム研究室 **C-D29 | エコパリティバリエーション** **立命館大学 理工学部 電子情報工学科 マルチメディア集積回路システム研究室**

我々は独創性のあるLSIアーキテクチャを開発してマルチメディアを処理するシステムや、世の中の役に立つ技術を研究しています！！研究グループは5つあり、1班：マイコンやLEDを用いた研究、2班：組込み機器向けプロセッシングアーキテクチャの開発とその応用、3班：GPSをはじめとする、通信に関わるセキュリティの研究、4班：宇宙農業施設における効率的な食物生産の研究、5班：画像処理技術を中心としたAIやエンターテインメントへの応用研究、となっています。デモを多く用意しているので是非お越しください。共同研究、研究委託等コラボレーションを積極的に行っておりますので是非お声がけ下さい。

連基 **B-G12** **共創するパートナーとしてお客様のサービス成長の原動力となるソリューションを提供**

本年は最新のインテルCPU（Panther Lake）を搭載した組込みシステム、ARMアーキテクチャ製品などFA、IoT、エッジAIシステム構築に最適な各種デバイスをデモを交えて展示いたします。また、業界標準SoMの一つであるOSM（Open Standard Module）規格の評価開発ボードならびにOSM-Mモジュールもご紹介いたします。

渡辺電機工業 **B-G14** **省エネと計測の『見える化』をリードする問題解決企業**

渡辺電機工業は、1940年創業で86年の歴史を持つ「計装と計測制御機器の専門メーカー」です。工場や設備の稼働監視、電力・エネルギー管理といった分野において、「アナログ計測技術」を軸に製品を提供してまいりました。長年培ってきた計測の基盤にデジタル技術を積み重ね、様々な現場での「見える化」に貢献します。IoTゲートウェイ「WGWBシリーズ」を中核に、設備のエネルギー・デマンド監視による脱炭素化促進、装置の状態監視、設備の遠隔監視など、お客様の多様な課題に対応するソリューションをトータルでご提案します。

7月23日(木)

7月24日(金)

基調講演

**CES・MWC・ハノーバーメッセ2026から読み解く産業競争力の本丸
～組み込み・エッジ技術が再定義するフィジカルAIの真価～**

(株)AIST Solutions(産総研グループ) CTOオフィス Vice CTO
和泉 恵明



**現場で動くAIをAWSで実現
～フィジカルAIとAI駆動開発で変えるものづくり～**

アマゾンウェブサービスジャパン(同)
技術統括本部 ストラテジックエンタープライズ本部
自動車・製造第二ソリューション部 ソリューションアーキテクト
澤 亮太



AI技術の社会実装としてのIoT

INIAD cHUB(東洋大学情報連携学 学術実業連携機構) 機構長
坂村 健



Agentic AIが加速させる製造業の最前線とGemini Enterpriseの現在地

Google Cloud Japan
製造・インダストリアル事業本部 カスタマーエンジニア
實田 健



フィジカルAIとどう向き合うか ～政策の現場から～

経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 次長
大平 昌幸



**生成AIは次の時代へ
～AIとともに創り、AIとともに働く社会の実現に向けて～**

日本マイクロソフト(株)
業務執行役員 エバンジェリスト
西脇 資哲



AIは、脅威か。武器か。——組み込み業界が今すぐ動くべき理由

GitLab(同)
ソリューションアーキテクト本部 シニアパートナーソリューションアーキテクト
小松原 つかさ



**「ロボットが相棒となる世界の実現に向けた川崎重工のチャレンジ」
～人とロボットが共生する社会の現在地と未来像～**

川崎重工工業(株)
ロボットディビジョン グローバル事業推進部
マーケティングコミュニケーション担当部長
牧田 幹彦



急成長するAIバリューチェーン/半導体産業の将来像

パルピオン・コンサルティング(株)
ディレクター
鳥光 厚志



テクニカルセッション

**生成AIなど最新技術により進む産業構造の変革
～俯瞰的視点とシステムアーキテクチャにより変革をリードする～**

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂 成功

原点回帰!ここから始まる「組み込みソフトウェア開発技術の基礎」

(株)富士通ラーニングメディア 関西・中部エリアビジネス統括部 松尾 圭浩

**組み込みシステム開発の勘所
～モデルによる変革!AI活用戦略に基づきDXを成功させる～**

イワハシ工学(同) 代表 岩橋 正実

AIが書いたコード、誰が守るのか? 「AIと創る」時代のエンジニアの新しい責任

(株)トライコード 代表取締役/OWASP Japan Chapter Leader 上野 宣

現場を理解するAIの実装最前線

～VLM・エッジAI・クラウド連携による産業向けソリューション開発～

(株)村田製作所 先端デバイス技術開発部 シニアプロフェッショナル 野出 拓也
日本マイクロソフト(株) カスタマーサクセス事業本部 クラウドソリューションアーキテクト 伊藤 駿汰

ヒートアップセッション

AI駆動型開発 ～生成AIの開発現場への活かし方～

(株)エクスマーシオン 代表取締役社長 渡辺 博之
(株)チェンジビジョン 代表取締役社長 小阪 暢之
名古屋大学 情報学部 教授 本田 晋也
bubo(株) QAエキスパート 正岡 泰彰
イワハシ工学(同) 代表 岩橋 正実

関西AI祭り!「PhysicalAIで大事なこと関西のビジネスは何をすべき?」

(株)EmplifAI 代表取締役社長 大曾根 宏幸
痛快技術(株) 代表取締役 杉本 礼彦

【パネルセッション】

**関西AI祭り!「既に取り掛かってみたPhysicalAI」
プレイヤー同士によるPhysicalAIの実態**

日本マイクロソフト(株) Account Manager Customer Success 小林 直樹
(株)たけびし ソリューション開発部オリジナル商品開発課 主事 中内 賢吾
(株)EmplifAI 代表取締役社長 大曾根 宏幸
(株)痛快技術(株) 取締役痛快師 田中 雅也
(国大)京都大学 経済学部 KUPAC 代表 大澤 衛正
(株)痛快技術(株) 代表取締役 杉本 礼彦

**ABIT-Forum × EdgeTech+ West
熱血議論!フィジカルAI時代を日本の技術力で制せるか?**

— 日本発組み込みソフトウェア技術が生む競争優位 —

(一社)組み込みシステム技術協会(JASA) 副会長 渡辺 博之
(一社)組み込みシステム技術協会(JASA) 専務理事 山田 敏行
(一財)関西情報センター イノベーション創出支援グループ GM・主席研究員 石橋 裕基

プロフェッショナルが解説する「DX/AI」の現在地と、その先にある未来

(株)サートプロ 代表取締役CEO 近森 満
ITコンサルティング DXpower 代表 辻野 一郎
(株)エムティブレイン 代表取締役 山口 透
(株)CoLab 代表取締役CEO 川畑 晋治
関西・中部エリアビジネス統括部 松尾 圭浩

技術者とともに学んできた25年!「ETロボコン2026」はどう変化したのか?

～関西地区は20年目のアニバーサリーでっせ!～

[ETロボコン本部] 運営委員長 櫻井 隆
[ETロボコン関西・北陸地区] 実行委員長 岩橋 正実、審査委員長 中森 勝
技術委員長 野口 貴弘、実行委員 小島 崇、実行委員 佐藤 亨
事務局局長 松尾 圭浩

出展者セミナー

**EU CRA技術対応の要点:ライフサイクル全体で継続的に行う構成管理・脆弱性追跡
— SBOM・VEXを活用した継続管理と迅速報告の実践**

ブラック・ダック・ソフトウェア(同)

**エッジデバイスにおける新世代セキュリティ戦略:
義務から保護へ、そして保護から攻めのセキュリティへ。
製品価値を進化させ、新たなビジネスチャンスを生む新発想と、
それを支える組み込みセキュリティ中核技術を紹介**

(株)ユビキタスAI

IoTセキュリティとAI開発時代のリアルタイムOS「μT-Kernel 3.0」

INIAD(東洋大学情報連携学部) / ユーシーテクノロジ(株)

9月からCRA適用開始! 組み込みOSの脆弱性メンテナンスを解説

リネオソリューションズ(株)

グローバル展開を加速させる開発不要の通信モジュールとゲートウェイ

ディジニターナショナル(株)

JC-STAR★1・★3取得への道

サイバートラスト(株)

**AI駆動のデジタルエンジニアリングによる製造業の革新
～PTCの最新ソリューションと展望～**

PTCジャパン(株)

**AIコーディングに求められる透明性と管理対応の迅速化
— AIを活用したアプリケーション・セキュリティの最前線**

ブラック・ダック・ソフトウェア(同)

次世代仮想化基盤の現状と選び方

～Prossione Virtualizationで考える仮想化コスト最適化と運用課題の解決～

(株)NTTデータ先端技術

開発マネージャーが取り組むべき下回りソフト開発の大改革

～マイコンEOL対応で見える、生成AIの実践活用と開発高速化～

ミラクシア エッジテクノロジー(株)

Linux Foundation × JASA 組み込みLinuxエンジニア認定 発表記念共同セミナー

「本格化するOSSベースのソフトウェア駆動型開発とセキュリティ技術最前線」

【第1部】Automotive Grade Linux SoDevプラットフォームの最新技術動向

Automotive Grade Linux Advisory Board member /(株)本田技術研究所

【第2部】AI時代のOSS サイバーセキュリティ最新動向

Linux Foundation Japan Evangelist / サイバートラスト(株)

【第3部】組み込みLinuxエンジニア認定制度について

The Linux Foundation Vice President of Japan Operations

(一社)組み込みシステム技術協会(JASA)

なぜ、テストはいつも最後に地獄をみるの —自動車業界の事例から考える評価手法—

ベクター・ジャパン(株)

※敬称略 ※2026年7月3日(金)時点

最新情報は、公式サイトでご確認ください。

<https://www.jasa.or.jp/etwest/>



ETロボコン2026

チャンピオンシップ大会

パシフィコ横浜

テスト走行

競技会

モデリングワークショップ

11月18日(水) 11月19日(木) 11月20日(金)

エントリークラス大会

オンライン

10月25日(日)

ETロボコンの価値は、まず地区大会の現場を体感することでより鮮明になります。

大会では、参加者が自ら設定した目標に向けて、設計の検討や改善、動作検証を短いサイクルで繰り返し、限られた時間の中で成果を仕上げていく姿が、実践的な開発プロセスそのものとして立ち上がります。現場に立つと、若手が主体的に議論し、課題を整理し、他チームのアプローチから新たな視点を吸収しながら、技術的思考力や問題解決力を確実に高めていく様子が手に取るように伝わってきます。

こうした経験は、日常業務では得にくい成長機会となり、挑戦

意欲を引き出すだけでなく、組織全体の技術力向上にもつながる重要な機会となります。

人材育成のアウトプットの場としてETロボコンをご検討いただくうえでも、地区大会の現場をご覧いただくことは非常に有効です。技術と学びが交差するこの空間には、文章では伝えきれない“教育効果のリアル”があり、来場いただくことで、貴社のエンジニア育成にどのような価値をもたらすのかを具体的にイメージしていただけるはずです。

現場を確認いただくことが、今後の育成方針を考えるうえで確かな判断材料になります。

大会の詳細情報は、ETロボコン公式サイトでご確認いただくか、ETロボコン事務局までお問い合わせください。

HP : <https://www.etrobo.jp/>

お問い合わせ先 : secretary@etrobo.jp



各地区大会情報

9 September

2026

SUN

MON

TUE

WED

THU

FRI

SAT

北海道地区 : 9月13日(日)

東北地区 : 9月20日(日)
中四国地区 : 9月20日(日)

東京・北関東地区 : 9月22日(火・祝)
南関東地区 : 9月22日(火・祝)

関西・北陸地区 : 9月26日(土)
沖縄地区 : 9月26日(土)

九州北・九州南地区 : 9月27日(日)

東海地区 : 10月3日(土)

エンジニアの人材育成でお悩みの方は、
まずはご相談ください！

オンライン相談会は随時開催しておりますので、お気軽にご相談ください。
詳しくは、ETロボコン事務局(secretary@etrobo.jp)までお問い合わせください。

技術本部成果発表会 開催報告

技術本部の活動をご理解いただくことを目的に、各委員会・WGが2025年度に実施した調査研究とその成果等を発表しました。

日 時 2026年5月22日（金） 14:00～17:00
会 場 豊洲ベイサイドクロスタワー（東京都江東区豊洲）
開催形式 会場及びオンラインでのハイブリット開催



挨拶に立つ竹内会長（左）と会場の様子

最優秀

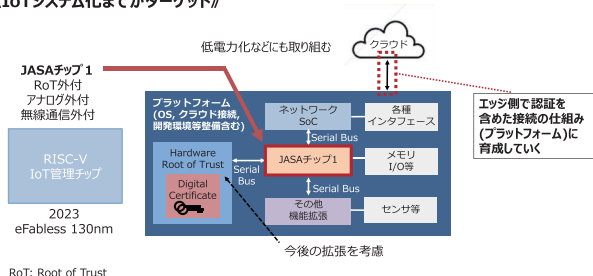
ハードウェア委員会 RISC-V WG

発表者 WG主査 小檜山 智久



3-3. 開発のスコープ

《IoTシステム化までがターゲット》



審査コメント

- 成果をWEB公開している所を評価。チップリリースから教育ドキュメント、キット、セミナーへと展開して欲しい
- 大きな目標設定を見事にクリアできていて秀逸だった。これからの期待大
- JASAチップに期待しています

優秀

コモングラウンド委員会

発表者 委員会委員長 国井 雄介



コモングラウンド委員会2025活動サマリ

活動目的

- 1 Society5.0の実現に向け、サイバー空間とフィジカル空間を融合する『デジタルツイン』を実現する必要条件と技術課題を、組込み視点で明らかにする
- 2 JASA会員企業が自社の技術検討やPoCに「持ち帰って試せる」再利用可能な『動く検証資産』として成果を整理・発信し、将来的な業界の共通基盤づくりにつながる知見を蓄積する

活動成果

- デジタルツイン関連技術の調査研究
委員会が自然教室を実施
- 外部発信
展示会出展・セミナー登壇・専門誌連載で技術知見を共有
- 技術デモ
OSSを活用した動く検証環境を構築し公開（各WG）
- 人材・ネットワーク
若手育成と、業界団体・企業・大学との連携を創出

審査コメント

- セミナーが充実していることを評価。外部との連携やネットワーク拡大に期待
- 昨年のフィジカルAI開発でCPS等が数多く活用されており、そこの接点が増えたと良い
- デジタルツインの技術ロードマップ 課題を深掘したい

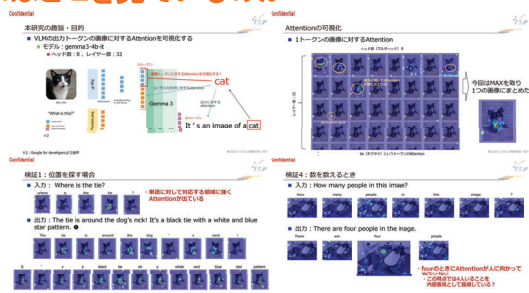
優秀

応用技術調査委員会 AI研究WG

発表者 WG主査 中村 仁昭



VLMはどこを見ているのか



審査コメント

- たいへん有益な調査結果であると思います
- 組込みならではの個別の研究が興味深い。研究成果の紹介の仕方に工夫が必要。有識者による評価が欲しい
- 様々な技術課題への取組みは評価できるが、考察をもっと深めるとさらに良いかと思う
- おもしろい。個社では困難な取組み。進化の早い技術トレンドの継続調査は重要



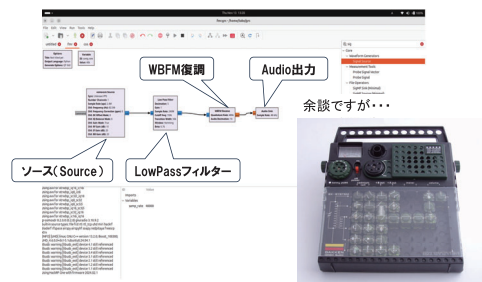
ハードウェア委員会 デバイスWG

発表者 WG主査 勝見 哲也



3-3. GNU Radio Companion事例紹介

FM受信の構築事例紹介



審査コメント

- 高周波アナログにチャレンジしているのは興味深い。評価環境づくりや教材づくりまでたどりつくと良いと思う
- SDRというものの実践検証として非常に面白い内容
- Software-Definedのテーマが面白い。未来を感じる

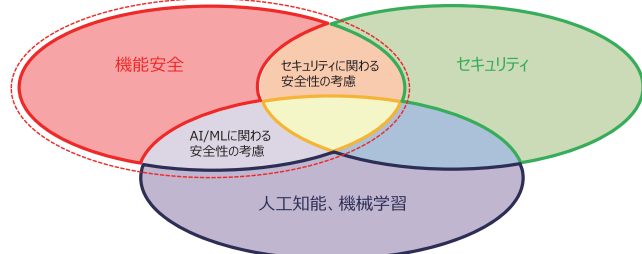
安全性向上委員会

発表者 WG主査 小澤 健一



1. 活動概要 ～JASA 安全性向上委員会のアプローチ～

【Policy】：複雑システムの機能安全の課題や国際規格に関する調査・研究をし、成果を積極的に情報発信していく



審査コメント

- 将来にわたって、優先度の高い活動だと思います。開発現場への普及・啓蒙の取組みに期待
- STAMPを実践する際のAI活用まで踏み込んで貰いたい。ISO8800の話をもっと聞きたかった
- STAMPの強み・技術ロードマップが知りたかった
- 今年度もセミナーの開催を期待しています

応用技術調査委員会 OSS活用WG

発表者 WG委員 米田 幸生



成果発表 (CycleEdge)

自転車向け運転監視端末 ★

デバイスの全体像

【日常走行における疑問】

- 自分はどんな走りをしているのか？
- 疲れやすい場面はどこか？
- 無難のない走行リズムは？

9軸センサー・GPS・心拍センサーを搭載し、自分の運転や身体の状態をセンサーで見る化するデバイスです。

今回の目的：自転車走行をデータ化する

デバイス構成イメージ

本装置は自転車用ヘルメット中心部に密着し、電磁波やセンサーデータを送受信することで、走行時と充電時の、必ずしも必要としない機能を考えました。

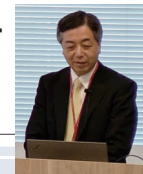


審査コメント

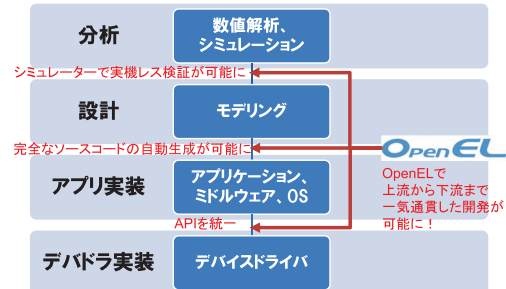
- ハンズオン/オンライン教育のガイドラインやドキュメントがあると活動を広げやすいのでは？
- 実際のもの作りまで実施出来た点は評価するが肝心のOSSに関する言及が少なかった
- 新人教育には有効、社外活動・チーム力育成は魅力的
- アイデアを実践するために楽しむのは良いですね

プラットフォーム構築委員会 OpenEL活用WG

発表者 WG主査 中村 憲一



OpenEL®で何がどうなるのか？



審査コメント

- 研究成果が興味深い。将来への広がりを感じる。ツール化やドキュメント化して誰でも使いやすい環境があると良い
- AI活用の実績として有意義。スキーマやデジタルツインスキーマの説明があるととっても良い
- 概念モデルの必要性をより深く説明が欲しい

理想の会社の追求が女性エンジニアも活躍する環境に 人間力を高め徹底した技術領域で開発ニーズに対応中

システムのコアとなるハードウェアに近い領域に特化したシステム開発事業を展開する株式会社ゼロワン(神奈川県横浜市)。代表取締役・高橋智明氏が、理想とする会社をつくるべく20年前に設立、社員の働きやすさを追求してきた職場環境は、業界では珍しいほど多くの女性エンジニアが活躍する場にもなっている。そんな同社を訪ね、高橋代表に話をうかがった。

代表取締役 高橋 智明氏



リーマンショックで 組込み領域を徹底する方向に

制御・組込みシステム開発を専門とするゼロワン。「もともと組込みエンジニアとして普通にサラリーマンをしていた」代表の高橋智明氏が自身の理想とする会社をつくるべく設立した会社だ。退職当初は多様な会社と関われる派遣エンジニアとして理想にかなう転職先を探したそうだが、派遣先の1社から「一緒にやらないか」と声がかかったことをきっかけに起業、設立に至っている。

「最初は個人事業主として独立して始めましたが、企業との取り引きを考えそのまま会社にしてスタートしました。幸い派遣で知り合った方々から“会社を始めるならぜひ一緒に”と言っていただいて、数名の方に入社していただきました。それから20年、いまは20名ほどのエンジニアが客先常駐や受託で、自身の持てる技術を発揮しシステム開発に取組んでいる。

得意としているのはハードウェアに近い領域。制御ファームウェアやデバイスドライバ、ミドルウェアが電子部品やマイコンを制御する階層だが、事業を展開するうえでこのレイヤーには強くこだわっている。その

きっかけとなったのはリーマンショックだという。米国の大手投資銀行リーマン・ブラザーズの経営破綻をきっかけに世界中が金融・経済危機に陥った。「会社を立ち上げて3年目、他にもこなせる仕事はあり特にこだわりもなかったのですが、案件が縮小するなかで小さな会社ながらも何かに突出した技術を持つべきだと痛感しました。自分のキャリアも当時の社員も組込みエンジニアなので、徹底して組込み技術に特化していくことで差別化しアピールしています」

一時期はI/Oボードなど内製化していた自社製品も整理し、一括で受注したうえでパートナー会社と連携して進める体制とした。いまは開発体制を、現場にエンジニアが出向き技術を提供するSES(システム・エンジニアリング・サービス)、受託開発、OEM・ODMの3事業として企業の開発ニーズに対応している。

ならではの就業体制で 女性をサポート

高橋氏が思う理想の会社は「仕事にやりがいを感じることはもちろん、成果や実績に対し正に評価されることがいっばんだ

事」と考える。時代とともに働き手の意識が多様化するも、自身が正当な視点で評価されることは誰であってもモチベーションが高まるはずだ。

女性エンジニアが多いことも同社を語るうえで外せない特徴のひとつ。実に半数を女性エンジニアが占める。きっかけは、システムの動作を検証するテスターのパート採用だった。「パートは業界的にも珍しいでしょうが、たくさん雇用しました。そういう状況下で学生向けに説明会をおこなうと、男性は常駐先で不在だし女性ばかりが目につくので、女性が活躍している会社とのイメージが付き、また女性が応募してくる、という循環も生まれてきました。それに場所の利点があると思います」と続ける。

会社のある横浜市都筑区は、生活の利便性や子育て環境の良さなど住みやすい街として県内屈指の大人気エリア。製造業の工場が立地していることから「大手企業の社員も多く住んでいて、結婚を機に退職された方がまた働きたくなくてパートで入ってくるパターンもあります」

女性ならではのライフスタイルに合わせた就業体制を考慮し、働きやすい環境をサ



年1回実施している社員旅行での一コマ。
 任意ながらほとんどの社員が参加しているという

FA向けシステムの開発例。
 今後FA関連の開発案件は増えるとみている

自慢のF1マシン模型を掲げる高橋氏

ポートする。高橋氏は女性エンジニアについて「女性はユーザー目線で使いやすさ、便利さのアイデアが出せる点が男性にはない。男性はどうしてもエンジニア目線になって不要な機能を持たせがちですから」と評価している。

最先端分野やFAにも技術を発揮

ゼロワンが対応する技術領域はシステムのコアとなる部分。応用分野は、その上のレイヤーであるアプリケーションによって多岐にわたる。空中ディスプレイという最先端技術の事例もその一つ。「映像など空中に表示されてモーションセンサーでタッチ操作ができる仕組みで、最近案件が増えています」。知り合った会社がきっかけでコネクタ製造装置などFA関連にも対応している。飲料系工場向け滅菌機の製造の相談もあり今後さらに増えてくるとみている。「FA分野は技術者の高齢化が進み、人材が減少しています。新しく設備を入れ替えたくて業者を探しているという会社も多い」とし、そうしたニーズの受け入れ先として機能していく。

車系の実績もある。イベントで展示される1台だけのコンセプトカーなどユニークな開発例もある。「モビリティショーなど展示向けのコンセプトカーは自動車メーカーが考

えたものを試作車として1台だけつくりますが、近所にある車両全体を手がけるメーカーからの依頼で伝送まわりの制御を担当しました。コンセプトカーはいまの技術で未来をどう表現するかという話で、タイヤの裏側にコンセントが付いていたり自動と見せかけ実は陰から手動で動かしたりすることもあります」と裏話も教えてくれた。ちなみに高橋氏は無類のクルマ好きという。なかでもF(フォーミュラ)1は夢中になれるほどハマっているようだ。

社員交流を重視し 受託事業へのシフトを見据える

そんな高橋氏は、今後は受託開発事業を伸ばしていきたいと考えている。受託開発メインの会社は自社製品開発を目指すなど受託からの脱却に向かう会社が多いが、そうした発想とは異なる。その意図にも高橋氏の理想の会社像への追求が感じられる。「経営的な観点からすると毎月安定した収益が見込めるSES事業は利点がある反面、社員はほとんど会社にはいないので帰属意識にも影響しますし、与えられている仕事にやりがいがないと思っていてもコントロールができない。受託にシフトしてそうした状況をなくそうという考えが元々ありました。理想

はすべて受託開発に移行することです」。いまは月1回の全体ミーティングと懇親会で交流を温めている。

自身がやりたい仕事をこなしていくには技術力の向上は必須だが、高橋氏は「人間力の向上」も重要と捉え研修の場を設けている。「目標を達成するための技術が基本テーマで、良好な人間関係を築くための手法のひとつとされる選択理論心理学も学びます。正直な話、発注する側は気に入った人に依頼したい。気に入られるかどうかの方が大きなファクターで、人間関係を学び人としての魅力を高めていきたいと思います。年2回の研修ですが、実際次の契約時も頼っていただくなど効果があります」。あくまで社員ファーストな発想が伝わってくるが、福利厚生なども意見を取り入れながら制度設計していくという。

JASAとは過去に若手がETロボコンに参加したり少なからず縁があった。「組込み開発を事業としていながら自分の世界でしか知らない面もあり、自分の知見もそうですが、人脈も広げていけることを期待しています。直接的に仕事につなげることも、いろいろな可能性を広げていきたいと思います。社員のモチベーションを向上させ発展する同社の発想は、刺激になる会員も多そうです。

●「会社訪問」のコーナーでは、掲載を希望される会員企業を募集しています。お気軽にJASAまでお問い合わせください。



中部支部

総会を実施、名大 高田広章教授の講演も

2026年5月15日(金)16時から ザ サイプレスメルキュール ホテル名古屋にてJASA中部支部総会を実施しました。支部長以下15名の会員が出席しました。

総会では、令和7年度事業総括、令和8年度事業計画、行事予定について話し合われました。その後、名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所、名古屋大学大学院情報学研究科の高田広章教授をお招きし、講演会を実施しました。

■講演会内容

自動車は「ソフトウェア」で進化する時代へ

一 自動車DXとオープンSDVがもたらす未来 一

・自動車の価値は「ハード」から「ソフト」へ

これまで自動車の価値は、エンジン性能や走行性能、耐久性といったハードウェアに大きく依存してきました。しかし近年、通信技術やAIの進化により、車の価値は大きく変化しています。

具体的には、購入後に機能を追加できる、ユーザーの好みに

合わせてカスタマイズできる、エンターテインメントやサービスを楽しめるといった「体験価値」が重要になっています。特に近年、中国市場では自動車の価値が大きく再定義されつつあります。従来の「移動手段」としての役割だけでなく、居住空間・娯楽空間としての利用が重視されています。



高田広章教授

例えば、車内での動画視聴やゲーム、快適なシート環境など、車内体験の充実が重要な購買要因となっています。ここで重要なのは、この変化が中国特有の現象に留まるのか、それとも世界全体に波及する潮流なのかという点です。もし後者であれば、自動車メーカーは根本的な価値設計の見直しを迫られることになります。

この変化の中心にあるのがSDV (Software Defined Vehicle) です。SDVとは、ソフトウェアによって機能や価値が定義さ

近畿支部

AI技術セミナー、メンタルヘルス総務セミナー開催報告

2026年6月上旬に、近畿支部では、技術担当社員の技術啓発や人材育成、および技術以外の分野へのスキルアップや情報収集に役立てることを目的として、春季技術セミナーと春季総務セミナーの2つのセミナーを開催いたしました。

技術セミナーでは、株式会社コア 関西カンパニー クロスデバイス・イノベーション部の阪口真澄氏を講師にお迎えし、『SLMを活用したエッジAI開発の取り組み』と題してご講演いただきました。講演では、組込み機器におけるSLM(小規模言語モデル)を用いたオンデバイスAIの取り組みに加え、生成AIに背景やルールを渡して要件定義から検証までを回す「AI駆動開発」の実践例が紹介されました。

参加者からは、AIと人間の役割分担や注意点が明確に示されたことで実際の開発プロセスの流れを具体的にイメージしやすく、実務への活用が期待できる内容であったという意見が寄せられました。また、提示された数値成果に対する評価とともに、「AIが作成した設計を人間が吟味し検証する力が今後より必要になる」という講師の指摘に共感する意見も見受けられました。

総務セミナーでは、野嶋社会保険労務士事務所の宮原麻衣子氏をお招きし、『リーダーを守り、社員を守る企業づくり』と題

してご講演いただきました。精神障害の労災請求件数が過去最多を更新する深刻な現状を踏まえ、予測不可能なVUCA時代においてリーダーや管理職が抱えやすいメンタルヘルス不調の特徴から、ビジネススキルとしてのセルフケア、社員を守るハラスメント対策までを体系的にお話しいただきました。

参加者からは、日々の業務の中で何が問題か曖昧だった部分がクリアに言語化され、まずは管理職自身が「自分を労わる」というレジリエンスの重要性に改めて気付くきっかけになったという声が聞かれました。さらに、具体的なセルフケア手法を通じて客観的に自分を守る術を学ぶとともに、リーダー層が元気であることが組織の安定や社員の働きやすさに直結することを深く実感させられるといった意見も寄せられました。

今回の春季セミナーは、最先端の技術トレンドであるAI駆動開発と、それを現場で運用・推進する人と組織のメンタルヘルスという会員企業の皆様にとっても関心の高い2つのテーマに焦点を当てた企画となりました。近畿支部では、今後も会員企業の皆様が抱える技術的・組織的な課題に寄り添い、業界全体の発展を支える有益な情報発信と交流の場を提供してまいります。ご多忙のところご登壇いただいた講師の皆様、ならびにご参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

れる自動車を指し、OTA (Over the Air) によるアップデートによって、購入後も継続的に進化する点が特徴です。自動車はもはや「完成品」ではなく、「使い続けながら進化していく製品」へと変わりつつあります。

・オープンSDVとビークルAPIが切り開く未来

SDVの次の段階として注目されているのがオープンSDVです。これは、自動車メーカーだけでなく、その他の企業や開発者が自動車向けアプリやサービスを開発できる仕組みで、自動車を「サービスのプラットフォーム」へと進化させる可能性を持ちます。

一方で、この実現には重要な課題も存在し、特に大きいのは「安全性」と「責任の所在」です。自動車は人命に関わる製品であり、自由な開発環境と安全性の両立が不可欠となります。

この課題を解決する鍵がビークルAPIです。ビークルAPIは、アプリが車両機能を安全に利用するための共通ルールであり、標準化が進むことで車種を問わずアプリが動作し、開発を効率化することが見込めます。現在、名古屋大学を中心とするOpen SDV Initiativeでは、60社以上の企業と共にビークル



广汽トヨタ(広州汽車とトヨタ自動車の合併)が中国市場向けに展開しているbZ3Xの Cockpit

APIの設計や実証、技術者育成を進めています。

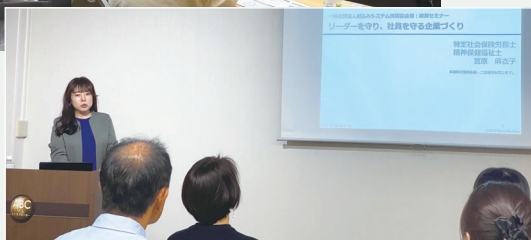
スマートフォンの普及が産業構造を大きく変えたように、自動車業界も今まさに転換点にあります。SDVとオープンSDVは、単なる技術革新ではなく、自動車の未来を左右する重要なテーマです。



技術
セミナー



総務
セミナー



関東支部 異業種交流会 BBQ Party in 新宿 開催報告

2026年5月23日(土)、BBQでらす 御来光にて「異業種交流会 BBQ Party (関東支部)」が開催され、12社40名が参加しました。

当日は、若手社員を中心に積極的な名刺交換や交流が行われるなど、企業の垣根を越えたコミュニケーションが活発に見られました。終始和やかな雰囲気の中で大いに盛り上がり、参加者同士が新たなつながりを築く貴重な機会となりました。また、引き続き開催された二次会にも30名以上が参加し、業界内の横のつながりや情報交換の重要性を改めて実感する場となりました。

参加者間の交流も一層深まり、今後のさらなる連携や協業につながることが期待される有意義なイベントとなりました。



プラグフェスト実行委員会

第29回日本プラグフェスト開催報告

第29回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、同一のインターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。参加チームの多くが、ゲームモードや4K/8K対応の最新機能を搭載した機材を持ち込み、市場トラブルを未然に防ぐ為、実際のユースケースを想定し、複数の機器を同時に接続するシステム試験を事務局で設定し、接続試験を実施。各参加メーカーの機器から数多くの想定外の挙動が検出され、とても有意義な機会を提供することが出来ました。



AI研究WG

AIセミナー成果報告会

「トマトの成熟度の自動判定」が優秀賞、各グループが面白いお題に挑戦

2026年3月18日にオンラインでAIセミナー(AI研究WG)の成果報告会を行ないました。今年発表したのは3グループでした。発表内容を簡単に紹介します。

まず1つめのグループは「AI(機械学習)を用いたトマトの成熟度の自動判定」です。既存のデータセットを用いて3層CNNと、Mask R-CNNを用いたインスタンスセグメンテーション(画像内のオブジェクトを個体ごとに識別し、その形をピクセル単位で正確に切り抜く技術)で判定を試みました。3層CNNではデータセットだと問題がないものの、実データでは認識が良くありませんでした。一方Mask R-CNNを用いたインスタンスセグメンテーションでは、実データでも認識できていたのが印象的でした。写真はKaggleで公開しているトマトの成熟度用のデータセットです。下が未成熟で上が成熟してるデータです。ちなみにMask R-CNNは、物体の正確な輪郭(マスク)までピクセル単位で切り抜くことができるAIモデルです。

次のグループは「ソースコードでCPT(継続事前学習)したLLMをコーディングエージェントで使う」発表をしてくれました。LLMの学習は時間やコストもかかるのですが、果敢に挑戦してくれました。思ったように精度は上がりませんが興味深い発表になっていました。

最後のグループは「コンウェイの逆ライフゲームを通じてCNNとSNNの違いを確認」という発表でした。ある状態から次の状態



へのルールが決まっているコンウェイのライフゲームで、任意の場面から前の場面を推測するモデルを作成してくれました。CNNもSNNも実際の場面を導出できなかったのですが、選んだお題がおもしろく見応えのある発表になっていました。ちなみにSNNは、人間の脳の仕組みを真似て、電気スパイクのタイミングで情報を処理する省電力型ニューラルネットワークです。

今どきのLLMであったり興味を抱いているものであったり、おもしろいお題に挑戦してくれていて発表を聞いているのが楽しい報告会でした。最終的に結果が優れていた「トマトの成熟度の自動判定」が優秀賞に選ばれましたが、どのグループが選ばれてもおかしくない成果でした。2026年度も6月24日からAIセミナーを開始しました。来年の成果報告会もどのようなお題を選んでくれるのか今から楽しみにしています。

【会期・場所】

会期：2026年6月4日(木)～5日(金)
場所：京都府民総合交流プラザ 京都テルサ
主催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

【目的・特徴】

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカは、ソース機器¹、シンク機器²、リピータ機器³に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカ全体の品質向上を促しています。

【参加メーカ・機種】

- 参加メーカ 15社 39名
- 参加機種 シンク機器 7機種(TV、プロジェクタ等) / ソース機器 6機種(BDレコーダ、ゲーム機等) / リピータ機器 5機種(AVアンプ、AVレシーバ等)

【試験方法】

システム試験

- ソース・リピータ・ソースの複数チームと接続する試験
- 日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現
- 1スロット90分

【参加者からのご意見・ご要望】

『毎回接続イベントを開催していただき、事前準備から運営、撤収まで、お忙しい所本当にありがとうございます。様々な企業との交流も得られていい会でした。』

『東京、京都だけでなく名古屋などの中部地方での実施も検討いただきたいです。』

『成熟したと思っていましたが、様々な検証を他社様とすることで課題の発見につながりました。ありがとうございます。』

『90分という対戦時間に関して適切であったと感じています。それぞれの対戦時間の間に少し休憩時間があるとよりよいと感じました。』

【次回の予定】

- 日時 2026年11月26日(木)～27日(金)
 - 場所 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
 - テスト規格 HDMI
 - 参加資格 HDMI搭載機器メーカおよび、ケーブルメーカ
 - 参加料金 1名 22,000円(税込)
- 詳細につきましては、日本プラグフェストHPにてお知らせいたします。
(<https://www.jasa.or.jp/plugfest/2026autum/>)

- 1) デジタルコンテンツを出力する機器 (BDレコーダ、デジタルカメラ等)
- 2) デジタルコンテンツを受信し表示する機器 (TV、プロジェクタ等)
- 3) ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機 (AVアンプ等)

OSS活用WG

ハンズオン成果報告会 「自転車向け運転監視端末」が優秀賞、 見ていて楽しい報告会

2026年3月27日(金)にオンラインにてOSS活用WG ハンズオンの成果報告会を行ないました。今年は3チームでの発表となりました。発表内容を簡単に紹介します。

1つめのグループは「スマートホームデバイス」です(写真下)。ペットドアの自動ロック開閉システムで、RaspberryPiにRFIDリーダーとドアロック開閉用のサーボモータを接続し、RFIDを読み取るとドアロックを開錠するようなシステムを作成しました。3Dプリンタで実際にドアロックを作成するなどで、製品イメージを持ちながら作成していたのが良かったです。

2つめのグループは「洗濯物乾燥システム」です。RaspberryPiに温湿度センサを接続し、洗濯物の乾燥度合いを判定しBluetoothスピーカーで音を鳴らしお知らせするという物でした。露点で乾燥具合を測る発想が面白いと感じた発表でした。

3つめのグループは「自転車向け運転監視端末」です。M5Stackに9軸加速度センサ・GPS・心拍センサを接続し、自転車の走行データを取得するシステムでした(写真上)。こちらでも3Dプリンタで筐体を作成し、実際に自転車に取り付けてデータを取得し、そのデータを上手く可視化出来ていて、システムとして良いものが出来ていたと感じました。ちなみにM5Stackはディスプレイ、ボタン、無線通信モジュールなどを搭載した5cm角のモジュールです。

3Dプリンタを使ってモノを試作し、実践をするなど、製品をイ



メージしたような挑戦があり、見ていて楽しい報告会でした。どのチームの発表も良かったのですが、システムとして完成度が高かった「自転車向け運転監視端末」が優秀賞となりました。2026年度もどのようなシステムを検討・作成してくれるのかを楽しみにしています。

未知の挑戦に
立ち向かおう

仮説検証ブートキャンプ

～ VUCAワールドを制する短期集中トレーニング ～

2026年度 開催決定
皆さまのご参加をお待ちしています。

主催：組込みシステム技術協会
共催：人間中心設計推進機構、人間中心社会共創機構
企画・運営：仮説検証ブートキャンプ実行委員会

AI活用×顧客起点で新規事業の「売れる仮説」を磨く3日間集中プログラム

「仮説検証ブートキャンプ」は、一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)と、特定非営利活動法人人間中心設計推進機構(HCD-Net)・一般社団法人人間中心社会共創機構(HCS共創機構)の共同プロジェクトであり、仮説検証を通して「HCD(Human Centered Design: 人間中心設計/人間中心デザイン)」の必要性や、仮説検証の手法としてのHCDを学ぶことを目的としております。

本プログラムは、VUCA(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)の時代にあって、「仮説検証」といったアプローチを通じて、新しい仮説・アイデアや解決策を創出しては検証する、といった習慣を身につけるための「人材育成の機会」であり、「実践手段を学ぶための機会」です。

本年度はAI活用も考慮した最新の学習内容となるよう構成を再編しつつ、遠方からの参加も可能になるようワークショップもオンラインでの開催になります。最終成果発表は、EdgeTech+ 2026(JASA主催)での「企画プレゼンテーション」を予定しており、AIを活用した動画やプレゼン資料での発表を行っていただきます。

本プログラムへの参加企業の募集に際しましては、JASAの会員企業の方々だけでなく、広く関係先の企業の方々にも、参加いただくことが可能となりました。そこで、「仮説検証」といった活動を通じ、会社内やパートナー企業の皆さんへ仮説検証・「HCD(人間中心設計/人間中心デザイン)」の習得機会として、是非とも本プログラムをご活用・ご参加いただきたく、ご案内いたします。

プログラム構成:

1. 仮説検証の知識習得(10月/オンライン+HCD基礎検定受験)

2. 実践形式ワークショップ(10月～11月/オンライン)

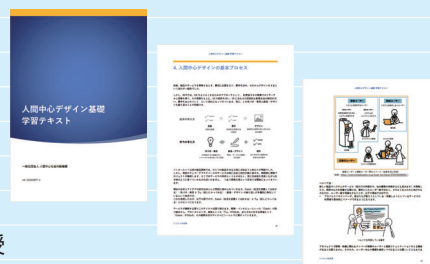
Day 1 / 10/8(木):初期仮説の構築 × ユーザー受容性検証

Day 2 / 10/22(木):提供価値の再定義 × 構造検証

Day 3 / 11/5(木):持続可能性の設計 × 運用検証(Ops)

3. 企画プレゼンテーション(11月20日(金)午後/EdgeTech+会場)

審査委員長:慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 白坂成功 教授



【仮説検証ブートキャンプ】無料説明会 (共催:HCD-Net・HCS共創機構)

7月23日(木)16時～17時 オンライン(ZOOM)

<ZOOM登録>

<https://us06web.zoom.us/join/TP421TDiTVendyQIn3fj7Q>

当日ZOOMより直接参加頂いて構いませんが、事前に参加人数を把握したいため、可能であれば下記より、お問い合わせ内容に

【説明会第3回参加希望】とし、事前登録をお願いいたします。 <https://hv-bootcamp.biz/contact/>

■公式サイト:

<https://hv-bootcamp.biz/>

■主催:

一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

■共催:

特定非営利活動法人人間中心設計推進機構(HCD-Net)

一般社団法人人間中心社会共創機構(HCS共創機構)

■後援(予定):

経済産業省、

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、

デジタル庁

■企画・運営:

仮説検証ブートキャンプ実行委員会

委員長/JASA副会長 株式会社エクスマーシオン

代表取締役社長 渡辺 博之 氏

■参加費(税込):

・Aプラン: 33万円(5名まで参加)

・Bプラン: 22万円(3名まで参加)

・Cプラン: 11万円(1名まで参加)

・Dプラン: 9.9万円(HCD基礎検定合格者・HCD-Net
認定: 人間中心設計専門家資格保有者割引)

■スポンサー費:

・参加チームの各プランに「11万円(税込)」を追加

・特典)ロゴのウェブ掲載、教材を社内利用可、
ほか特典を検討中

■参加申込: 下記のウェブサイトをご覧の上、
お申し込みください。

申込期限は9月4日(金)17:00となっております。

<https://hv-bootcamp.biz/>

■お問合せ先:

仮説検証ブートキャンプ事務局

info@hv-bootcamp.biz

横田英史の 書籍紹介コーナー



知性の未来:脳はいかに進化し、AIは何を変えるのか

マックス・ベネット、恩蔵絢子・訳
新潮社 3,960円(税込)

AIスタートアップの共同創業者が脳の進化を論じた書。AIの進化と対比しながら脳の進化の過程を検証する。脳はAIをどのように構築すべきかについてのインスピレーションになり、AIは我々が脳を理解しているかどうかのリトマス紙になる。機械学習や大規模言語モデルなどを、脳の進化や心の問題と関連付けながら解説する。大規模言語モデルからは人間のような人工超知能は生まれないと断じる。

5つのブレークスルーが知性を発展させた。操縦、強化、シミュレーション、メンタライジング、発話である。それぞれ左右相称動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類、人間と対応付けて説明する。6番目のブレークスルーは人工超知能の創造である可能性が高いという。半導体チップのなかに我々の子孫が出現すること、知性を生物学的媒体からデジタル媒体に移すことがポイントだと語る。

あなたの顔はわたしたちのもの ～顔認証AIの誕生と、プライバシーの終わりの物語～

カシ米尔・ヒル、高橋則明・訳
実務教育出版 2,750円(税込)

SNSにアップされた顔写真(600億枚以上)のデータを無断でスクレイピングし、その顔と関連付けて個人情報を提供する

サービスを開発した米Clearviewと開発者を追ったノンフィクション。1枚の顔写真から、名前やSNSアカウント、家族、住所、本人も知らない過去の写真までを、99%の精度で特定できるという。米国の地方警察やFBI、権威主義国家(カタール、コロンビア、アラブ首長国連邦)などを顧客に抱える。筆者はディストピア化が進む現代社会の実情を丹念な取材で明らかにする。

本書のキーワードの一つが「技術的甘美」。技術の進歩によって得られる“右肩上がり”喜びが、本来なら感じるべき懸念を圧倒する。この技術的甘美が顔認識技術でも生じ、本当なら考慮すべきプライバシー侵害への懸念が消し飛んでしまう。

半導体 ～尖端覇権の興亡～

大鹿靖明
講談社 2,750円(税込)

半導体や液晶、太陽電池でかつて世界をリードした国内電子産業の栄光と没落、そして改めて国として力を入れ始めた半導体産業に焦点を当てた書。前半部は太陽電池、EUV、エルピーダメモリ、ソニーとシャープをテーマに、2010年以降における国内先端産業の凋落を扱う。後半部は経済安全保障の観点から重要性が増す半導体を中心に展開する。TSMCやラピダスを巡るホットな話題を取り上げており読ませる。

国内電子産業が凋落した元凶として、経営者、官僚、政治家、ジャーナリズムに

厳しい目を向ける。先端技術を覇権的な道具に使う発想に乏しく、優位性のある技術を大切にしない。経営者は大局的、戦略的視点に欠け、あまりにお人好し過ぎる。他社と横並びで技術や工場を二東三文で中国や韓国に売り払い、両国の台頭を許したと分析する。

創って学ぶCPUの基本 ～3bitプロセッサを設計しながら ゼロから仕組みを理解する～

檀上京之介
日経BP 3,300円(税込)

過剰なほど懇切丁寧に3ビットCPUの動作原理と自作手順を解説した書。2進法や論理回路の基礎から説き始め、コンセプト設計から仕様設計、ブロック図、回路設計、基盤設計に至る設計プロセス、SSIやMSIレベルのICを使ったALUの構築を解説するなど実に面白い。ブラザー工業のハードウェア設計者の著者は、豊富な図を使いながらステップバイステップで設計手順を紹介する。

自作する3ビットCPUはAND、OR、XOR、ADD、IN、OUT、JMP、NOPと8個の命令を備える。アドレスは4ビット幅で、SRAMでメモリーを構成する。プログラムの入力にはトグルスイッチを使う。出力はLEDで確認する。電源はUSBからとる。実にシンプルな構成である。いまやすっかりブラックボックス化している情報技術を、こうしたプリミティブなレベルから知るのには悪くない。

横田 英史 (yokota@et-lab.biz)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マグロウヒル(現日経BP社)に入社。日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現日経クロステック)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。2004年11月、日経バイト発行人兼編集長。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、2016年日経BPソリューションズ代表取締役役に就任。2018年3月退任。2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、2018年10月退社。2018年11月ETラボ代表、2019年6月当協会理事、2020年4月(株)DXパートナーズ アドバイザリーパートナー、2024年3月(株)観瀾舎を設立 代表取締役社長、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組み込み制御、知的財産権、環境問題など。

*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する団体の見解とは関係ありません。



JASA 会員一覧

(2026年7月)

北海道支部

HISホールディングス株式会社	http://www.hokuyois.co.jp
株式会社技研工房	https://www.giken-k.biz
株式会社クレスコ 北海道開発センター	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 北海道カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社シー・エヌ・エス	http://www.cnws.co.jp
株式会社Stableソフト	https://stablesft0801.com
株式会社ダイナミック	https://www.dynmc.co.jp
株式会社テクノラボ	https://www.techno-labo.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 函館分室	https://www.ditgroup.jp
株式会社プライセン 札幌R&Dセンター	https://www.brycen.co.jp
株式会社リッジワークス	https://www.ridgeworks.co.jp

東北支部

株式会社イーアールアイ	http://www.erii.co.jp
株式会社イーエムエス	https://ems-to.jp
株式会社コア 東関東カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社CIC 東北支店	https://www.cichdgroup.com
国立大学法人東北大学 情報科学研究科教授 青木研究室	http://www.tohoku.ac.jp
株式会社ビット 東北事業所	https://www.bits.co.jp

関東支部

一般社団法人I IOT	https://www.iiot.or.jp
株式会社アイ・エス・ビー	https://www.isb.co.jp
一般社団法人iCD協会	https://www.icda.or.jp
一般社団法人ICT CONNECT 21	http://ictconnect21.jp
一般社団法人IT検証産業協会	https://www.ivia.or.jp
株式会社アクティブ・ブレインズ・トラスト	https://active-brains-trust.jp
アストロデザイン株式会社	https://www.astrodsgn.co.jp
株式会社アックス	http://www.axe.bz
株式会社アットマークテクノ	https://www.atmark-techno.com
アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド	http://www.upwind-technology.com
株式会社アトム技研	https://www.atom-gkn.co.jp
株式会社アドバンスド・データ・コントロールズ	http://www.adac.co.jp
APAL TECH JAPAN株式会社	https://apal-tech.com
株式会社アフレル 東京支社	https://afrel.co.jp
アンドールシステムサポート株式会社	https://www.andor.jp
イーエルシステム株式会社	https://www.el-systems.co.jp
イーソル株式会社	https://www.esol.co.jp
株式会社イーテクノロジー	https://www.e-technology.co.jp
イメージネーションテクノロジーズ株式会社	https://www.imgtec.com
株式会社インサイトワン	http://www.insight-one.co.jp
株式会社インテック	https://www.intec.co.jp
株式会社インフォテック・サーブ	http://www.infotech-s.co.jp
ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社	https://www.winbond.com/hq?_locale=ja
株式会社エクス	http://ex-s.co.jp
株式会社エクスモーション	https://www.exmotion.co.jp
SHコンサルティング株式会社	https://www.swhwc.com
STマイクロエレクトロニクス株式会社	https://www.st.com
株式会社NSP	http://www.nsp-ltd.co.jp
株式会社NTTデータMSE	https://www.nttd-mse.com

株式会社NTTデータ オートモビリティ研究センター	https://www.zipc.com
株式会社エヌデーデー	https://www.nddhq.co.jp
株式会社エンファシス	http://www.emfasys.co.jp
株式会社エンベックスエデュケーション	https://www.embex-edu.com
株式会社オレンジアーチ	https://www.orangearch.co.jp
株式会社金沢エンジニアリングシステムズ	https://www.kanazawa-es.com
学校法人金沢工業大学産業連携室	https://www.kanazawa-it.ac.jp
株式会社ギガ	https://www.giga.core.co.jp
一般社団法人行政情報システム研究所	https://www.iais.or.jp
一般社団法人組込みマルチコアコンソーシアム	https://www.embeddedmulticore.org
株式会社グレープシステム	https://www.grape.co.jp
株式会社クレスコ	https://www.cresco.co.jp
K-Best Technology株式会社	https://kbestjp.com
株式会社コア	http://www.core.co.jp
コードギア株式会社	https://www.codegear.co.jp
一般財団法人国際情報化協力センター	https://cicc.or.jp
株式会社コマス	http://www.comas.jp
株式会社コンセプトアンドデザイン	https://www.candd.co.jp
サイバートラスト株式会社	https://www.cybertrust.co.jp
株式会社CIC	https://www.cichdgroup.com
株式会社CRI・ミドルウェア	https://www.cri-mw.co.jp
CQ出版株式会社	https://www.cqpub.co.jp
株式会社シームレステクノロジー	https://seamlesstechnology.jp
SHAREWORK株式会社	https://sharework-corp.jp
JRCエンジニアリング株式会社	http://www.jrce.co.jp
株式会社ジェーエフピー	http://www.jfp.co.jp
一般社団法人J-TEA	http://www.j-tea.jp
株式会社システム計画研究所	https://www.isp.co.jp
株式会社システムサイエンス研究所	http://www.sylc.co.jp
シマフジ電機株式会社	http://www.shimafuji.co.jp
ジェネシス株式会社	http://www.genesys.gr.jp
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会	http://www.ccds.or.jp
一般社団法人情報サービス産業協会	https://www.jisa.or.jp
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	https://www.ciaj.or.jp
一般社団法人スキルマネージメント協会	http://www.skill.or.jp
株式会社ストラテジー	http://www.k-s-g.co.jp
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会	https://www.secureiotplatform.org
株式会社ゼロソフト	https://www.zerone-01.co.jp
株式会社ゼロワン	https://www.zerosoft.co.jp
ソーバル株式会社	https://www.sobal.co.jp
株式会社Sohwa & Sophia Technologies	http://www.ss-technologies.co.jp
一般社団法人ソフトウェア協会	https://www.saj.or.jp
一般財団法人ソフトウェア情報センター	http://www.softic.or.jp
一般社団法人体験設計支援コンソーシアム	http://www.cxds.jp
第一生命保険株式会社	http://www.dai-ichi-life.co.jp
株式会社チェンビジョン	http://www.change-vision.com
TIS長野株式会社 松本本社	https://tis-n.co.jp
株式会社D・Ace	http://d-ace.co.jp
株式会社DTSインサイト	https://www.dts-insight.co.jp
TDIプロダクトソリューション株式会社	http://www.tdips.co.jp
テクマトリックス株式会社	https://www.techmatrix.co.jp

ディジ インターナショナル株式会社	http://www.digi-intl.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社	http://www.ditgroup.jp
デンセイシリウス株式会社	https://www.denseisirius.com
株式会社電波新聞社	https://www.dempa.co.jp
東京電機大学 未来科学部	http://web.dendai.ac.jp
東芝情報システム株式会社	https://www.tjsys.co.jp
東信システムハウス株式会社	http://www.toshin-sh.co.jp
株式会社東光高岳	https://www.tktk.co.jp
株式会社トーセイシステムズ	https://www.toseisystems.co.jp
特定非営利活動法人TOPPERSプロジェクト	http://www.toppers.jp
トロンフォーラム	http://www.tron.org
株式会社ナイトテクノロジー	https://k-tech.co.jp
株式会社日新システムズ 東京支社	https://www.co-nss.co.jp
日本システム開発株式会社	http://www.nskint.co.jp
株式会社日本製鋼所 広島製作所	https://www.jsw.co.jp
日本生命保険相互会社	https://www.nissay.co.jp
日本ローターバツハ株式会社	https://www.lauterbach.com/jindex.html
ノアソリューション株式会社	http://www.noahsi.com
株式会社ノードゥス	https://www.nodus-inc.com
パーソルクロステクノロジー株式会社	https://persol-xtech.co.jp
株式会社ハイスポット	http://www.hispot.co.jp
株式会社パトリオット	http://www.patriot.co.jp
ハル・エンジニアリング株式会社	https://www.haleng.co.jp
ビ・エモーションA.I.株式会社	https://www.beemotion.ai
株式会社ピーアンドピービューロウ	https://www.pp-web.net
ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社	http://biz3.co.jp
株式会社日立産業制御ソリューションズ	https://www.hitachi-ics.co.jp
株式会社ビット	https://www.bits.co.jp
株式会社ブライセン	https://www.brycen.co.jp
ミラクシア エッジテクノロジー株式会社 新横浜拠点	https://www.miraxia.com
株式会社メタテクノ	https://www.meta.co.jp
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム	https://www.mcpc-jp.org
ユタカ電気株式会社	http://www.yutakaelectric.co.jp
株式会社ラデックス	https://www.rdx.co.jp
株式会社来夢多	http://www.ramuda.co.jp
一般社団法人RISC-V協会	https://www.riscv.or.jp
リネオソリューションズ株式会社	https://www.lineo.co.jp
株式会社連基	https://www.cnct.world
早稲田大学 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所	http://www.washi.cs.waseda.ac.jp

中部支部

株式会社ウィッツ	https://www.witz-inc.co.jp
有限会社OHK研究所	
株式会社OTSL	http://www.otsl.jp
株式会社コア 中部カンパニー	http://www.core.co.jp
三幸電子株式会社	http://www.sanko-net.co.jp
株式会社サンテック	http://www.suntec.co.jp
株式会社テクノフュージョン	http://www.tfusion.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社	https://www.ditgroup.jp
東海ソフト株式会社	http://www.tokai-soft.co.jp
東洋電機株式会社	http://www.toyo-elec.co.jp
萩原電気ホールディングス株式会社	https://www.hagiwara.co.jp
株式会社バッファロー	http://buffalo.jp
ベルエアーシステムズ株式会社	https://www.belairsystems.jp

株式会社マクスエンジニアリング	https://www.maxis-inc.com
株式会社明理工業	http://www.meiri.co.jp
株式会社ユタカ電子	https://www.yutakadenshi.co.jp

近畿支部

株式会社暁電機製作所	https://www.arunas.co.jp
株式会社アクシアソフトデザイン	http://www.axia-sd.co.jp
株式会社アフレル	https://afrel.co.jp
イーエルシステム株式会社	http://www.el-systems.co.jp
HIK株式会社	https://www.hik-jv.jp
株式会社大阪エヌデーエス	https://www.nds-osk.co.jp
一般財団法人関西情報センター	http://www.kiis.or.jp
株式会社キーエンス	https://www.keyence.co.jp
組込みシステム産業振興機構	http://www.kansai-kumikomi.net
株式会社クレスコ 大阪事業所	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 関西カンパニー	http://www.core.co.jp
コネクトフリー株式会社	https://connectfree.co.jp
株式会社Communication Technologies Inc.	https://www.cti.kyoto
株式会社システムクリエイティブ	https://systive.co.jp
株式会社システムプランニング	http://www.sysplnd.co.jp
株式会社XIN	https://www.xin-corp.co.jp
スキルシステムズ株式会社	https://skill-systems.co.jp
株式会社ステップワン	http://www.stepone.co.jp
住友電工システムソリューション株式会社	https://www.seiss.co.jp
株式会社窓飛	http://www.sohi.co.jp
株式会社ソフト流通センター	http://www.k-src.jp
株式会社たけびし	http://www.takebishi.co.jp
株式会社タダノ	http://www.tadano.co.jp
株式会社D・Ace 大阪支社	http://d-ace.co.jp
株式会社データ・テクノ	https://www.datatecno.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社	https://www.ditgroup.jp
有限会社中野情報システム	http://nakanoinfosystem.com
株式会社日新システムズ	https://www.co-nss.co.jp
株式会社ハネロン	http://www.haneron.com
株式会社Bee	http://www.bee-u.com
株式会社ビット 関西事業所	https://www.bits.co.jp
株式会社FLAPS	https://www.e-flaps.com
株式会社bubo	https://www.bubo.inc
ミラクシア エッジテクノロジー株式会社	https://www.miraxia.com
株式会社村田製作所	https://www.murata.com/ja-jp
株式会社ユニニス	https://uniuni.co.jp
株式会社ルナネクス	http://www.luna-nexus.com

九州支部

株式会社エフェクト	http://www.effect-effect.com
株式会社クレスコ 福岡開発センター	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 九州カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社CIC 九州営業所	https://www.cichdgroup.com
メカトラックス株式会社	https://mechatrax.com
株式会社メック	https://www.mecc.co.jp
柳井電機工業株式会社	http://www.yanaidenki.co.jp

・個人会員 10名

長期収入サポート制度のご案内(団体長期障害所得補償保険)

採用時の自社PRに！

求職者に「この会社で働きたい」と思ってもらえるような、魅力的な福利厚生制度を導入することで、他社との差別化が図れ、採用時のPRが可能です。

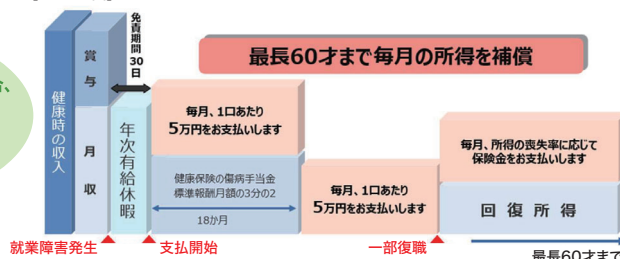
従業員へのメッセージに！

福利厚生制度を充実させることで「従業員を大切にしている会社」というメッセージ発信になり、従業員のロイヤリティ向上や定着率UPにつながります。

メンタルヘルス対策に！

従業員の「メンタルヘルス不調」を予防・支援できる福利厚生制度を充実させることで、従業員のメンタルヘルス対策になります。

【イメージ図】



<問い合わせ先>

【取扱代理店】
(株)メディカル保険サービス
TEL: 03-6808-1441
E-mail: info@medical-hoken.com

【引受保険会社】
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
広域法人開発部 営業課
TEL: 050-3460-8162

JASA新入会員企業紹介

株式会社オレンジアーチ

〒110-0005 東京都台東区上野5丁目25-11 大和上野ビル6階 <https://www.orangearch.co.jp>

株式会社オレンジアーチは、組込み機器向けファームウェア開発を中心に、ビジネスアプリケーション／システムインテグレーション、AI・DX推進、内製化支援まで幅広く事業を展開しています。デジタルカメラ、車載、社会インフラ、産業装置などの開発で培った技術力とチーム力を活かし、お客様の成功を支える「架け橋」として、信頼性の高いシステム開発に貢献してまいります。

株式会社シームレステクノロジー

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町1番地 シルクセンター2階 <https://seamlesstechnology.jp>

株式会社シームレステクノロジーは、ガレージ関連製品「Smart Garage」、カーセキュリティ製品「GUARDOM」「Z-GUARD」、車両安全・制御関連製品「インターロック」等を自社で企画・設計・製造・販売する製品開発メーカーです。Bluetooth等の電波関連技術、スマホアプリ・Webアプリ開発、特許戦略まで一体で推進し、構想段階のアイデアを量産可能な製品・事業へ変える実装力を強めています。販売パートナー、共同開発、無線通信技術を活用した製品開発のご相談をお待ちしています。

シマフジ電機株式会社

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6丁目36番11号 西蒲田NSビル3F <http://www.shimafuji.co.jp>

我々は、最先端の組み込みボードから未来を創造するエレクトロニクス集団です。組み込みハードウェア(ボード開発)をメインとしてソフトウェア開発、FPGA、DRP設計やシステム開発を行う組み込み機器開発を事業の柱としています。最適な形で組み合わせたソリューションをご提供する組み込み機器メーカーです。

TIS長野株式会社

〒390-0815 長野県松本市深志1-2-11 昭和ビル <https://tis-n.co.jp>

TIS長野株式会社は、TISインテックグループの一員として、企業の成長をICTソリューションの提供で支援します。組み込み分野では、情報機器・産業機器分野のファームウェア開発に従事し、家庭用・産業用プリンターのメカシーケンス制御やデバイス制御を手がけてきました。近年は製造業のDXに伴走するスマートファクトリー関連の取り組みにも挑戦するなど、現場に根ざした技術で新たな価値創出を目指しています。

メカトラックス株式会社

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33 福岡システムLSI総合開発センター6階 <https://mechatrax.com>

メカトラックスは、電子回路、組込ソフト、センサー、機構など幅広い技術分野を手掛けており、地元福岡にとどまらず、全国の企業・大学・官公庁から多様な業務を受託しています。特にRaspberry Pi(ラズベリーパイ)の業務活用においては、英ラズベリーパイ社の認定開発パートナー(Design Partner)として、セルラー通信基板「4GPI」等の製品化やそれらを活用した受託開発・製造事業を展開しています。

株式会社ユニシス

〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館 <https://uniuni.co.jp>

私たちユニシスは、設立以来、皆様にとって使い易いソフトウェアを提供することを基本理念とし、すべてのお客様にご満足いただけるソフトウェア開発のビジネスを展開しております。創業以来掲げている当社の合言葉「人はちから、人はたから」という言葉の通りソフトウェアの開発は人の知識がすべてを生み出す仕事です。常に「人」に視点をあてた経営を心掛け、皆様にとって、より良いパートナーとなるよう、また、大きく社会への貢献ができるよう、さらなる努力を続けてまいります。今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

■編集後記

本号の特集は、7月23日・24日に開催する「EdgeTech+ West 2026」のプレビューです。今回は「生成AIで変わる開発現場:『コードを書く』から『AIと創る』時代へ」をテーマに掲げました。まさに今が旬の話題です。暑い大阪でお届けする暑いセミナーの数は実に約40セッション。生成AIやフィジカルAI、AI駆動開発など、トレンドを捉えたテーマをずらりと並べました。今から期待が高まります。見どころはAI関連だけではなく、「半導体産業の将来像」に迫るセッションや、West恒例のヒートアップセッションも用意しています。いずれも見逃せない内容です。充実の出展者情報と併

せて、ご来場の際の参考にして頂ければ幸いです。

また、当協会の特徴の一つに技術本部による活発な活動があります。本号では、その成果発表会の模様を取り上げました。今回は例年にも増して充実した内容でした。最優秀賞の「RISC-V WG」はRISC-V仕様のマイクロプロセッサの開発を続けてきましたが、今年後半にはついにサンプルチップが完成します。JASAのオリジナルチップです。今後の展開が非常に楽しみです。実は本部だけではなく、WGでも成果発表会を行っています。AI研究WGとOSS活用WGの内容をお伝えします。ご一読ください。

広報委員長 横田英史